ワイヤレスおよび有線ネットワーク

hp

invent

HP all-in-one ネットワーク ガイド

この製品は米国 4,558,302 特許権を取った LZW インプリメンテーションを含んでいる Adobe の PDF 技術を組み込んでいます。

Adobe および Acrobat のロゴは、米国やその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

部分的著作権は © 1989-2003 Palomar Software Inc. に属します。HPOfficejet 5500Series は Palomar Software, Inc. (www.palomar.com) から許可されたプリンタ ドライバ技術を含んでいます。

本製品は、OpenSSL Toolkit での使用のため、OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアを含んでいます。 (http://www.openssl.org/)

Apple、Apple のロゴ、Mac、Mac のロゴ、Macintosh、および Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Computer, Inc. の商標です。

出版番号： Q3462-90224

初版：2004 年 7 月

WindowsR、Windows NTR、Windows MER、Windows XPR、および Windows 2000R は米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

IntelR および PentiumR は、Intel Corporation の登録商標です。

注意

HP 製品およびサービスに適用される保証は、当該製品およびサービスに付属する保証書に明記されています。本書の記載事項を追加保証として解釈してはなりません。HP は本書の内容に関する技術上または編集上の誤記または脱落について責任を負わないものとします。

Hewlett-Packard Company は、本製品の設置やパフォーマンス、あるいは本ドキュメントおよび本ドキュメントに記載されているプログラムの使用に関係する、あるいは起因する付帯的なあるいは結果的な損害について責任を負わないものとします。

「ご注意：」規制情報は本ガイドの「技術情報」という章に記載されています。

多くの地域において、次のもののコピーを作成することは法律で禁じられています。疑問がおありの場合は、まず法律の専門家に確認してください。

- 政府が発行する書類や文書：
  - パスポート
  - 入国管理関係の書類
  - 徴兵関係の書類
  - 身分証明バッジ、カード、身分証明章
- 政府発行の証紙：
  郵便切手
  食糧切符
- 政府機関宛ての小切手や手形
- Paper currency, traveler's checks, or money orders
- 定期預金証書
- 著作権で保護されている成果物

安全に関する情報

警告 発火や感電を防止するために、本製品を雨やその他の水分にさらさないよう注意してください。

本製品を使用する際は常に基本的な安全上の予防措置を講じるようにしてください。発火や感電によるけがのリスクの引き下げにつながります。

警告 感電の危険性があります

1 セットアップ ポスターに記述されている指示すべてをお読みの上、内容を理解するようにしてください。
2 本体を電源に接続する際は、接地されているコンセントのみを使用してください。コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。
3 製品に表示されているすべての警告と手順に従ってください。
4 本体のクリーニングを行う際はコンセントから外してから行ってください。
5 水の近くに本製品を設置したり、あるいは濡れた手で本製品を使用したりしないでください。
6 本製品は安定した表面にしっかりと設置してください。
7 だれかが電源コードを踏みつけたりつまずいたりすることのない、また電源コードが損傷することのない、安全な場所に本製品を設置してください。
8 本製品が正常に動作しない場合については、オンスクリーン ヘルプのトラブルシューティングのページを参照してください。
9 お客様ご自身で分解修理しないでください。修理については資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。
10 風通しのよいところでご使用ください。

目次

1 はじめに

本書の目的は、お買い求めいただいた HP all-in-one に付属する印刷物の『セットアップ ガイド』 および 『ユーザー ガイド』 の情報を補うことにあります。本書では、機器の設定および接続、ソフトウェアのインストール等、ネットワーク環境での HP all-in-one の設定方法について説明します。また、推奨される各種ネットワーク構成、ネットワーク管理情報、トラブルシューティングのためのヒント等も紹介します。

お手元の HP all-in-one をネットワークに接続すると、HP all-in-one および全ての互換性のある機器をネットワーク上の各コンピュータ間で共有することができます。ネットワークに接続せず、USB ポートに直接に接続するには、『セットアップ ガイド』 を参照してください。

この章では、以下のトピックの情報が得られます。

- ネットワークの種類の選択
- 接続の種類の選択
- ネットワーク管理ツールの使用
- USB 接続からネットワーク接続への切り替え
- 追加のコンピュータを接続する
- HP 製品サポートについて

注記　本書で使用される用語の定義については、用語集 を参照してください。

ネットワークの種類の選択

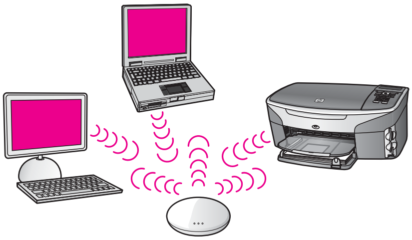
ご使用中および計画中のネットワークの種類により、HP all-in-one のネットワークへの接続方法が決まります。すでにネットワークが稼動しており、接続する方法が明確な場合、次のセクションに進んで接続の種類を選択してください。現在ネットワーク構成をご思案中の場合は、推奨ワイヤレス ネットワークを選択する と 推奨される Ethernet ネットワークの選択 を参照してください。

接続の種類の選択

HP all-in-one には、2 種類のワイヤレス ネットワーク接続と一種類の Ethernet (有線) ネットワーク接続が可能です。それぞれについて、以下に概略を説明します。

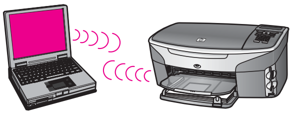
アクセス ポイントが 1 つのワイヤレス接続

インフラストラクチャ無線ネットワークでは、「**アクセスポイント**」、すなわちワイヤレス ルーターを 1 つ持ちます。これにより、HP all-in-one のセキュリティ確保および柔軟に対応できる接続が可能です。詳細については、アクセス ポイントによるワイヤレス ネットワークへの接続 を参照してください。



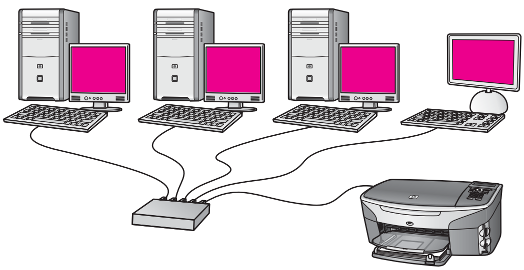
アクセス ポイントなしのワイヤレス接続 (アドホック)

アドホック ネットワークとは、アクセス ポイントなしの簡易なワイヤレス接続のことをいいます。詳細については、アクセス ポイントを使用しないワイヤレス ネットワークの接続 を参照してください。



有線接続 (Ethernet)

従来より使用されてきた有線ネットワークでは、Ethernet ケーブルを使用し、ルーターやスイッチを介して各種コンピュータとデバイスの接続を行います。Ethernet ネットワークは高速性、信頼性、セキュリティ確保において優れています。詳細については、Ethernet ケーブルで接続する を参照してください。



ネットワーク管理ツールの使用

HP all-in-one の管理ツールの使用についての詳細は、ネットワークの管理 を参照してください。

USB 接続からネットワーク接続への切り替え

USB 接続された HP all-in-one は、後から切り替えてネットワークに接続することができます。

USB 接続のネットワーク接続へ切り替えるには

1 HP all-in-one の後部から USB 接続ケーブルを取り外します。
2 アクセス ポイントによるワイヤレス ネットワークへの接続、アクセス ポイントを使用しないワイヤレス ネットワークの接続 または Ethernet ケーブルで接続する を参照して HP all-in-one を接続します。
3 ソフトウェアのインストール を参照して付属のソフトウェアをインストールします。
4 ソフトウェアのインストールが完了したら、以下の手順でコンピュータ上のプリンター用各種アイコンにアクセスします。
   - 「**Windows XP の場合**」:「**プリンタとファクス**」 フォルダを開きます。
   - 「**Windows 98/Me または Windows 2000 の場合**」:「**プリンタ**」 フォルダを開きます。
   - 「**Macintosh OS X の場合**」:「**ユーティリティ**」 一覧にある「**プリントセンター**」または「**プリンタ設定ユーティリティ**」 を開きます。
5 その中に HP all-in-one 用の USB プリンターのアイコンが存在するかどうかを確認します。USB プリンタのアイコンが表示されている場合は削除してください。

追加のコンピュータを接続する

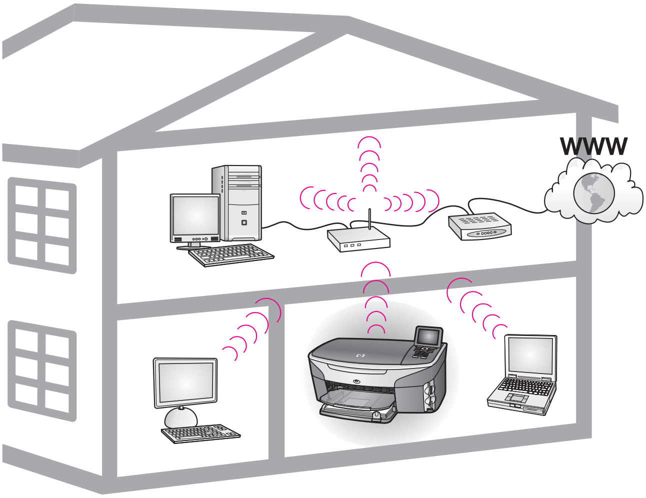
HP all-in-one が推奨ネットワークに接続されている場合、HP All-in-One をネットワーク上の他のコンピュータと共有することができます。追加する各コンピュータについて、ソフトウェアのインストール を参照して HP all-in-one のソフトウェアをインストールする必要があります。このソフトウェアは、インストール中に接続中のネットワークの SSID (ネットワーク名) を自動的に検出します。HP all-in-one のネットワーク接続が一旦完了すれば、次回にコンピュータを追加する際、再び設定を行う必要がなくなります。

HP 製品サポートについて

HP カスタマ サポートへのお問い合わせについては、HP all-in-one に付属している 『ユーザー ガイド』 を参照してください。

2 推奨ワイヤレス ネットワークを選択する

本章を参考に、現在お使いの、または導入をお考えのワイヤレス ネットワークの種類を特定することができます。本章で扱う各ネットワークは、それぞれワイヤレス アクセス ポイントを一つ使用してネットワークの各種要素に接続するものです。このように接続されたネットワークは、「**インフラストラクチャ**」 ネットワークと呼ばれます。



ワイヤレス インフラストラクチャ ネットワーク

ワイヤレス アクセス ポイントなしで HP all-in-one とお使いのコンピュータを接続するには、アクセス ポイントを使用しないワイヤレス ネットワークの接続 を参照してください。

Ethernet （有線） ネットワークについての詳細は、推奨される Ethernet ネットワークの選択 を参照してください。

注記　用語の定義が本章にみあたらないものについては、用語集 を参照してください。

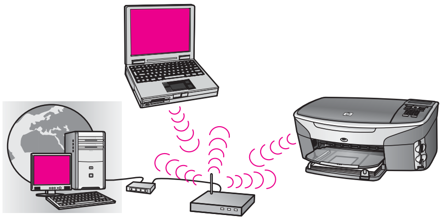
ワイヤレス 接続 ネットワーク

その他のネットワークの各利点に加え、インフラストラクチャ モード のネットワークを使用してインターネット接続の共有も可能です。ケーブルや DSL 等のブロードバンド インターネット接続は、HP all-in-one が提供する、

HP Instant Share の各種機能を利用するためには不可欠です。詳細については、HP all-in-one に付属の 『ユーザー ガイド』 を参照してください。

HP all-in-one を使用するためのワイヤレス LAN (構内ネットワーク) の各種設定は、以下をお勧めします。

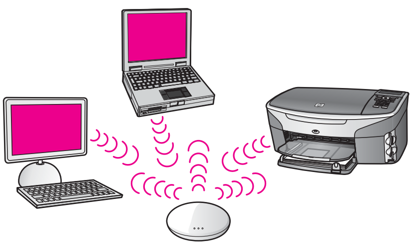
DSL またはケーブル インターネット接続されたワイヤレス ネットワークへのワイヤレス接続



ワイヤレス ルーター (またはアクセス ポイント) は、ネットワーク接続を管理し、また DSL モデムまたはケーブル モデムを使用することでインターネットへのアクセスが得られます。お使いのネットワークがこのような構成になっている場合、インフラストラクチャ モードで HP all-in-one をルーターに接続する際には、ワイヤレス セットアップ ウィザードを使用してください。接続の手順についての詳細は、アクセス ポイントによるワイヤレス ネットワークへの接続 を参照してください。

このネットワーク構成では、HP all-in-one の機能に最大限に利用することができます。具体的な例では、HP Instant Share を利用してインターネット上での写真の共有等があります。

インターネット接続なしの全てのワイヤレス ネットワークへのワイヤレス接続

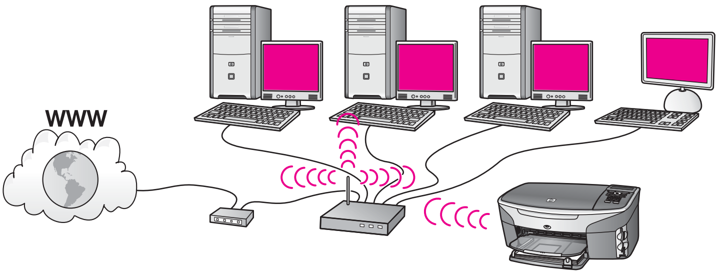


ネットワーク機器間の全てのワイヤレス通信はすべてアクセス ポイント (または無線基地局) を経て行われます。アクセス ポイントは、ワイヤレス機器を接続する中央ハブやゲートウェイの役割を果たします。それぞれのワイヤレス ネットワーク機器には、アクセス ポイントへの接続を行うアダプタが組み込まれていなければなりません。このネットワーク構成ではインターネット

へのアクセスがありません。詳細については、アクセス ポイントによるワイヤレス ネットワークへの接続 を参照してください。

注記　HP all-in-one の HP Instant Share 機能を使用するには、ケーブルや DSL 等のブロードバンド インターネット へのアクセスが必要です。詳細については、HP all-in-one に付属のユーザー ガイドを参照してください。

有線ネットワークへのワイヤレス接続



アクセス ポイントを使用して、ワイヤレス ネットワークを有線ネットワークへ接続することができます。このモデルでは、お使いのコンピュータを有線ネットワーク用に設定し、Ethernet ケーブルでアクセス ポイントに接続します。インフラストラクチャ モードに HP all-in-one を設定すると、ワイヤレス アダプタがアクセス ポイントを介してデータの送受信をできるようになります。DSL またはケーブル モデムを使用して、インターネットへのアクセスが得られます。詳細については、アクセス ポイントによるワイヤレス ネットワークへの接続 を参照してください。

3 推奨される Ethernet ネットワークの選択

すでに所定の位置に接続した、またはセットアップしようする Ethernet ネットワークの種類を本章で確認します。 ここで示される各ネットワークは、Ethernet ルーターなどのデバイスを使用してネットワーク構成要素を接続します。 このように接続されたネットワークは 「**インフラストラクチャ**」 ネットワークと呼ばれます。 Ethernet ネットワークにより、より優れたパフォーマンス、確実性、 ネットワーク セキュリティが得られます。

Ethernet ネットワークは、インターネットに接続する場合と接続しない場合があります。 HP all-in-one をインターネット接続の Ethernet ネットワークに配置する場合は、HP all-in-one の IP アドレスが Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) で動的に割り当てられるようにするため、ゲートウェイを使用することをお勧めします。ゲートウェイには、ルーターか Internet Connection Sharing (ICS) が稼働している Windows コンピュータが使用できます。

ワイヤレス ネットワークについては、 推奨ワイヤレス ネットワークを選択する を参照してください。

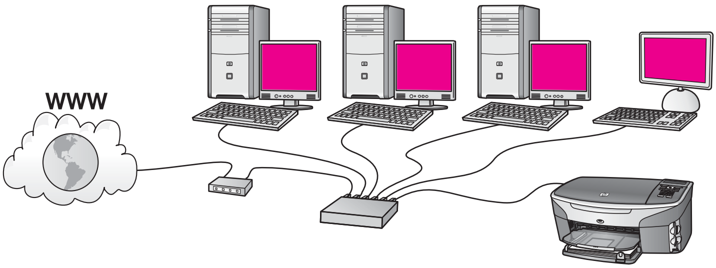
注記　ここで定義されていない用語の定義については、 用語集 を参照してください。

以下の有線 LAN （ローカル エリア ネットワーク）構成で HP all-in-one を使用することをお勧めします。

DSL またはケーブルでインターネットにアクセスする有線ネットワークへの Ethernet 接続

DSL またはケーブルでインターネットにアクセスする場合は、インターネット ゲートウェイとしてルーターかコンピュータ、どちらかを使用します。DSL とケーブルのどちらを使用しても、HP Instant Share を使用してインターネット上で写真を共有するなど、 HP all-in-one のすべての機能を利用できます。

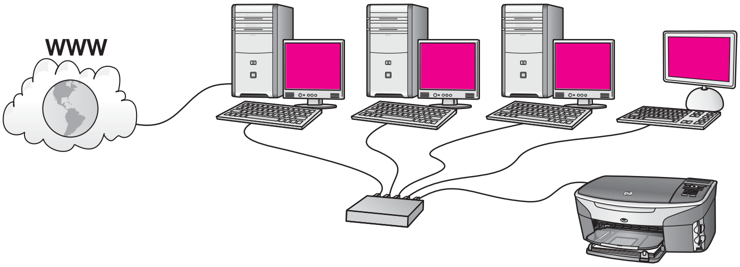
「ルーター ゲートウェイ」



この例では、ルーターがネットワーク接続を管理し、DSL またはケーブル モデムがインターネットにアクセスします。 この構成を使用する場合は HP all-in-one を Ethernet ケーブルでルーターに接続します。

この構成では、HP Instant Share　を使用してインターネット上で写真を共有するなど、 HP all-in-one のすべての機能を利用できます。 接続方法については、 Ethernet ケーブルで接続する を参照してください。

「コンピュータ ゲートウェイ」

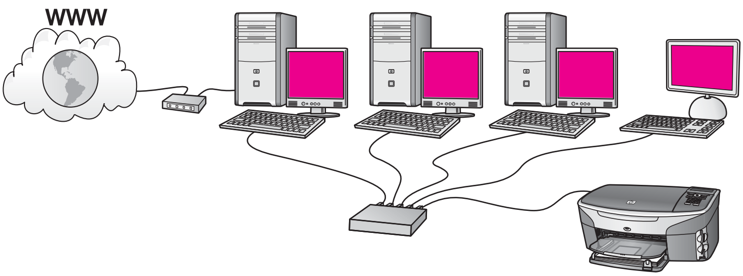


この例では、ネットワーク機器はスイッチまたはルーターに接続されます。ネットワーク上の 1 台のコンピュータが、ネットワークとインターネット間のゲートウェイとなります。このゲートウェイ コンピュータは、Windows Internet Connection Sharing (ICS) か類似のソフトウェアを使ってネットワーク接続を管理し、また他の機器がインターネットにアクセスできるようにします。

注記 ゲートウェイの働きをしているコンピュータの電源がオフになると、ネットワーク上の他のコンピュータはインターネットに接続できなくなります。また、HP all-in-one のインターネットに関連する機能も利用できなくなります。-

この構成を使用する場合は、 HP all-in-one を Ethernet ケーブルでスイッチまたはルーターに接続します。 接続方法については、 Ethernet ケーブルで接続する を参照してください。

モデムでインターネットにアクセスする有線ネットワークへの Ethernet 接続

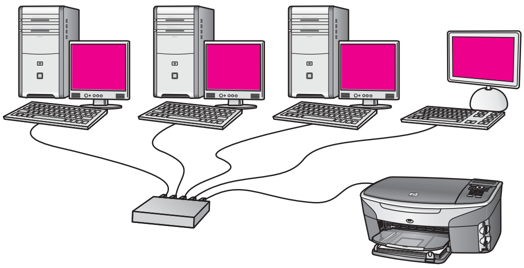


この例では、ネットワーク デバイスはスイッチまたはルーターに接続され、モデム（この図では左側のコンピュータに接続されている）がインターネットにアクセスします。モデムは、電話コードとジャックを使用してコンピュータに接続されています。1 台のコンピュータだけがインターネットにアクセス

できます。ネットワーク上の HP all-in-one や他のコンピュータは、インターネットにアクセスできません。この構成を使用する場合は、 HP all-in-one を Ethernet ケーブルでスイッチまたはルーターに接続します。 接続方法については、 Ethernet ケーブルで接続する を参照してください。

注記 HP all-in-one で HP Instant Share の機能を使用するには、ケーブルや DSL などの、ブロードバンドによるインターネット アクセスが必要です。HP Instant Share の詳細については、 HP all-in-one に付属の『ユーザー ガイド』を参照してください。

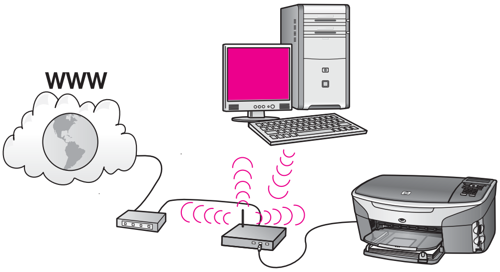
インターネットに接続しない有線ネットワークへの Ethernet 接続



この例では、ネットワーク デバイスはスイッチまたはルーターには接続されていますが、インターネットへは接続されていません。デバイスは AutoIP を使用するため、 IP アドレスは自動的に設定されます。 この構成を使用する場合は、 HP all-in-one を Ethernet ケーブルでスイッチまたはルーターに接続します。 接続方法については、 Ethernet ケーブルで接続する を参照してください。

注記 HP all-in-one で HP Instant Share の機能を使用するには、ケーブルや DSL などの、ブロードバンドによるインターネット アクセスが必要です。HP Instant Share の詳細については、 HP all-in-one に付属の『ユーザー ガイド』を参照してください。

ワイヤレス ネットワークへの Ethernet 接続



アクセス ポイントによって有線デバイスがワイヤレス ネットワークに接続されます。 このモデルでは、ワイヤレス ネットワーク アダプタを使用してコンピュータをワイヤレス ネットワーク用に設定し､データの送受信はアクセス ポイント経由で行います｡HP all-in-one は有線ネットワーク用に設定し､また Ethernet ケーブルでアクセス ポイントに接続します。 DSL またはケーブル モデムがインターネットにアクセスします。 接続方法については、Ethernet ケーブルで接続する を参照してください。

注記 この構成では、インターネット接続を Ethernet ケーブルを使用してアクセス ポイント経由で直接行うことをお勧めします。

4 アクセス ポイントによるワイヤレス ネットワークへの接続

ワイヤレス(802.11b または g) 「**アクセス ポイント**」 を使用して HP all-in-one と他のネットワーク構成要素を接続する場合は、本章をお読みください。 ネットワーク構成要素がアクセス ポイント経由で接続される場合を、「**インフラストラクチャ モード**」 と呼びます。

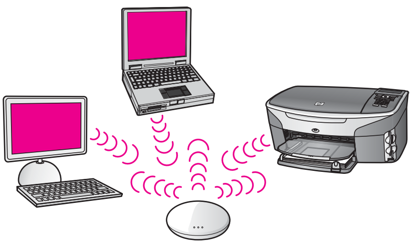
アクセス ポイントを使用する利点は以下のとおりです。

- ネットワーク セキュリティの強化
- 確実性の強化
- ネットワークのフレキシビリティ
- パフォーマンスの向上（特に 802.11 g モードで)

アクセス ポイントを使用してワイヤレス ネットワークをセットアップする方法の構成については、 ワイヤレス 接続 ネットワーク を参照してください。

アクセス ポイントを使用しないワイヤレスのセットアップについては、 アクセス ポイントを使用しないワイヤレス ネットワークの接続 を参照してください。

注記　ここで定義されていない用語の定義については、 用語集 を参照してください。



HP all-in-one をコンピュータに接続するには、まず、必要な装備について次のセクションを参照してください。 HP all-in-one の接続が終了したら、 ソフトウェアのインストール の説明に従ってソフトウェアをインストールする必要があります。

必要な装備

HP all-in-one をワイヤレス ネットワークに接続するには､以下の装備が必要になります。

- ワイヤレス アクセス ポイントを持ったワイヤレス 802.11b または g のネットワーク。 お使いのコンピュータが Macintosh の場合は、AirMac と

いう名前の設定が簡単なアクセス ポイントが販売されています。AirMac は Macintosh に接続しなければなりませんが、任意の 802.11b 互換ワイヤレス ネットワーク カード (PC か Macintosh のいずれに搭載されているかに関係なく) からの信号を受信できます。

- ワイヤレス ネットワーク サポートまたはネットワーク インタフェース カード (NIC) を備えたデスクトップ コンピュータやノートパソコン。 コンピュータからアクセス ポイントへは、Ethernet （有線）接続でもワイヤレス接続でもどちらでも可能です。 Macintosh の場合、ワイヤレス ネットワーク サポートは通常 AirMac カード で行われます。 Apple のコンピュータにはたいてい Ethernet （有線ネットワーク）ポートが内蔵されています。 有線接続に関しては、付属の Ethernet ケーブルより長い Ethernet ケーブルを購入する必要がある場合があります。
- ブロードバンドによるインターネット アクセス（推奨） インターネット アクセスを行っているワイヤレス ネットワーク上の HP all-in-one を接続する場合には、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) を使用したワイヤレス ルーター（アクセス ポイントまたは無線基地局）を使用することをお勧めします。
  デバイスから直接 HP Instant Share にアクセスする場合には、ブロードバンドによるインターネット アクセス必要です。 HP Instant Share の詳細については、 HP all-in-one に付属の『ユーザー ガイド』を参照してください。

ネットワークへの接続

1 アクセスポイントに関する次の情報を書き留めてください。
   – ネットワーク名（SSID とも呼ばれる）
   – WEP キー、WPA パスワードまたはパスキー(必要に応じて)

   こうした情報がどこにあるのかわからない場合は、お使いのワイヤレス アクセス ポイントに付属のマニュアルを参照してください。 アクセス ポイントの埋め込み Web サーバーにこうした情報がある場合もあります。

   注記 Macintosh ユーザーの場合 : ネットワークに Apple AirMac Base station が設定され、WEP HEX や WEP ASCII ではなくパスワードを使用してこのネットワークにアクセスする場合は、該当する WEP キーを入手する必要があります。 ネットワーク アドミニストレーターは、AirMac Admin ユーティリティを実行して、該当する WEP キーを入手することができます。

2 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
3 「**8**」 を押し、次に 「**4**」 を押します。
   「ネットワーク」 メニューが表示され、「ワイヤレス 設定 ウィザード」 が選択されます。 この設定ウィザードは利用可能なネットワークを検索

し、検出されたネットワーク名 （SSID）の一覧を表示します。 インフラストラクチャ ネットワークが一覧の最初に表示されます。 最も強い信号のネットワークが最初に、最も弱い信号のネットワークが最後に表示されます。

4 ▼ を押し、ステップ 1 で書き留めたネットワーク名を選択して、「**OK**」 を押します。
ご使用になるネットワーク名が見つからない場合は、以下の手順に従ってください。
   a 「新規ネットワーク名 (SSID) を入力する」 を選択します。 必要に応じて、▼ を使って選択し、 「**OK**」 を押します。
   ビジュアル キーボードが表示されます。
   b SSID を入力します。 HP all-in-one のコントロール パネルの矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の文字や数字を選択し、「**OK**」 を押して確定します。
   ビジュアル キーボードの使用に関する詳細については、HP all-in-one に付属の『ユーザー ガイド』を参照してください。

   注記 大文字と小文字は 「**正確に**」 区別して入力してください。 大文字と小文字を間違えると、ワイヤレス接続に失敗します。

   c 新しい SSID の入力が終了したら、矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の 「完了」 を選択し、 「**OK**」 を押します。
   d 「**1**」 を押し、インフラストラクチャ モードを選択します。
   e 「**2**」 を押して、WEP 暗号化を選択します。
   または
   「**3**」 を押して、WPA 暗号化を選択します。

5 プロンプトが表示されたら、WPA または WEP キーを入力します。 矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の文字や数字を選択し、「**OK**」 を押して確定します。

注記 大文字と小文字は 「**正確に**」 区別して入力してください。 大文字と小文字を間違えると、ワイヤレス接続に失敗します。

[WEP キーが無効]、というメッセージが表示された場合は、新しいネットワーク用に書き留めたキーを確認し、再度キーを入力してください。

6 WPA または WEP キーの入力が終了したら、矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の 「完了」 を選択し、 「**OK**」 を押します。

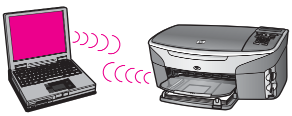
7 「**OK**」 を押して確認します。
HP all-in-one がネットワークに接続をを試みます。 接続に失敗した場合は、キーを正しく入力し直すプロンプトに従ってもう一度試行します。
ネットワークのトラブルシューティング も参照してください。

8 HP all-in-one がネットワークの接続に成功したら、お使いのコンピュータに戻ってソフトウェアをインストールしてください。ソフトウェアのインストール を参照してください。

5 アクセス ポイントを使用しないワイヤレス ネットワークの接続

本章は、アクセスポイントを使用せずに HP all-in-one をワイヤレス ネットワーク上のコンピュータに接続する場合にお読みください。 これを、 「**ピア ツー ピア**」 または 「**アドホック**」 ネットワークと呼ぶこともあります。 Macintosh ネットワークでは、これを 「**コンピュータ ツー コンピュータ**」 ネットワークと呼びます。

注記 アクセス ポイントがない場合でも、このタイプの接続は可能です。 しかし、フレキシビリティや、ネットワーク セキュリティのレベルは低下し、アクセスポイントを使用した場合に比べてネットワーク パフォーマンスは遅くなります。 さらに、ブロードバンド アクセス（ケーブルや DSL など）をおそらく共有しないため、 HP all-in-one の HP Instant Share 機能を使うことができません。 アクセスポイントを使用した HP all-in-one の接続についての詳細は、 アクセス ポイントによるワイヤレス ネットワークへの接続 を参照してください。



HP all-in-one をコンピュータに接続するには、必要な装備について次のセクションを参照してください。 そして、後続のセクションの手順に従って、以下の作業を行ってください。

- コンピュータの準備
- コンピュータにワイヤレス ネットワーク プロファイルを作成
- HP all-in-one をワイヤレス ネットワークに接続

終了したら、 ソフトウェアのインストール の説明に従ってソフトウェアをインストールしてください。

注記 ここで定義されていない用語の定義については、 用語集 を参照してください。

必要な装備

ワイヤレス ネットワーク アダプタを持つコンピュータ Macintosh の場合は、AirMac カードが必要です。

コンピュータの準備

ご使用のオペレーティング システムについては、以下の説明を参照してください。

Windows の場合

以下を点検し、確認してください。

- 内蔵の XP ファイアウォール、その他のファイアウォール、ウィルス検出ソフトウェアを含む、コンピュータ上で実行中のすべてアプリケーションを終了してください。
- インターネット接続を無効にします。 ケーブルまたは DSL の場合には、コンピュータ背面から Ethernet ケーブルを取り外します。 ダイアルアップ接続の場合は、電話コードを取り外します。
- ワイヤレス接続以外の、 LAN 接続（Ethernet を含む）をすべて無効にします。 また、 Ethernet の IEEE 1394（Firewire、 i.LINK または Lynx）もすべて無効にします。

  Windows XP の場合 :

  – Windows の 「**スタート**」 ボタンをクリックし、 「**コントロール パネル**」 をクリックし、 「**ネットワーク接続**」 をダブルクリックします。
  – 各 「**ローカル エリア接続**」 を右クリックし、 「**無効にする**」 をクリックします。 ポップアップ メニューに 「**有効**」 が表示される場合は、 「**ローカル エリア接続**」 はすでに無効になっています。

Macintosh の場合

コンピュータ上で実行しているすべてのアプリケーションを終了してください。

ネットワーク プロファイルの作成

ご使用のオペレーティング システムについては、以下の説明を参照してください。

Windows XP または Mac OS X 以外のオペレーティング システムの場合

Windows XP または Mac OS X 以外のオペレーティング システムの場合は、ワイヤレス LAN カード用の設定プログラムのご使用をお勧めします。 ご使用のワイヤレス LAN カード用の設定プログラムを調べるには、コンピュータのプログラムリストにアクセスしてください。

LAN カードの設定プログラムを使用し、以下の値に設定したネットワーク プロファイルを作成します。

- 「**ネットワーク名 (SSID)**」: Mynetwork
- 「**接続モード**」: アドホック
- 「**暗号化**」 : 有効

注記 ここで示された例以外にも、ご自身のイニシャルなど、別の名前をネットワークに使用することが可能です。 ただし、ネットワーク名は大文字と小文字を区別します。 従って、使用した文字が大文字か小文字か覚えておいてください。

Windows XP の場合

HP all-in-one は 「**hpsetup**」 と名づけられたネットワーク プロファイルが設定されるようになっています。 しかし、セキュリティとプライバシーの点では、ここで説明した手順に従ってコンピュータに新しいネットワーク プロファイルを作成することをお勧めします。ワイヤレス セットアップ ウィザードを使用し、（次のセクションで説明する手順で）新しいネットワークを検出してください。

1 前セクション、 コンピュータの準備 のすべての指示に従って作業を行ったか確認してください。
2 「**コントロール パネル**」 で、 「**ネットワーク接続**」 をダブルクリックしてください。
3 「**ネットワーク接続**」 ウィンドウで、 「**ワイヤレス ネットワーク接続**」 を右クリックしてください。 ポップアップ メニューに「**有効**」 が表示されている場合は、[有効]を選択してください。 逆に、メニューに「**無効**」 が表示される場合は、ワイヤレス接続はすでに有効になっています。
4 「**ワイヤレス ネットワーク接続**」 のアイコンを右クリックし、 「**プロパティ**」 をクリックします。
5 「**ワイヤレス ネットワーク**」 タブをクリックします。
6 「**Windows を使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する**」 のチェック ボックスをオンにします。
7 「**追加**」 をクリックし、 以下の手順に従ってください。
   a 「**ネットワーク名 (SSID)**」 のボックスに、 「**Mynetwork**」 （またはイニシャルなど、何か意味のある語）の名前を入力してください。

      注記 「**Mynetwork**」 の 「**M**」 は大文字で、残りの文字は小文字であることに注意してください。 このことは、後にワイヤレス セットアップ ウィザードで SSID を入力する必要がある場合に重要なので覚えておいてください。

   b 「**ワイヤレスネットワークキー**」 リストで、「**WEP**」 を選択します。

      注記 WEP キーを使用しないネットワークを作成することも可能です。 しかし、ネットワークの安全性を確保するためには、WEP キーを使用することをお勧めします。

   c 「**キーは自動的に提供される**」 の横のチェックボックスが選択されて 「**いない**」 ことを確認します。 選択されている場合は、クリックしてオフにします。

d 「**ネットワーク キー**」 ボックスに、 「**ぴったり**」 5 文字、または「**ぴったり**」 13 文字の英数字(ASCII)の WEP キーを入力してください。 例えば 5 文字入力する場合は、 「**ABCDE**」 または 「**12345**」のように入力します。 また、13 文字入力する場合は、「**ABCDEF1234567**」 のように入力します。

あるいは、 WEP キーに、HEX（16 進数）の数字を使用することもできます。 A HEX WEP キーは 40 ビット 10 文字 の暗号か、 128 ビット 26 文字の暗号でなければなりません。 ASCII と HEX の定義については、 用語集 をご参照ください。

e 「**ネットワークキーの確認入力**」 ボックスに、前のステップで入力したのと同じ WEP キーを入力してください。

f 大文字と小文字の区別も含め、入力したとおりに正確に WEP キーを書き留めてください。

注記 大文字と小文字の区別は正確に記憶しておかなければなりません。 HP all-in-one に間違った WEP キーを入力すると、ワイヤレス接続に失敗します。

g 「**これはコンピュータ相互(ad-hoc)のネットワークで、ワイヤレスアクセスポイントを使用しない**」のチェック ボックスを選択します。

h 「**OK**」 をクリックし、 「**ワイヤレス ネットワーク プロパティ**」 ウィンドウを閉じて、再び 「**OK**」 をクリックします。

i 再び 「**OK**」 をクリックして 「**ワイヤレス ネットワーク 接続プロパティ**」 ウィンドウを閉じます。

8 HP all-in-one に戻り、ワイヤレス セットアップ ウィザードを使って HP all-in-one をワイヤレス ネットワークに接続してください。ワイヤレス セットアップ ウィザードを使ったネットワークの接続を参照してください。

Mac OS X の場合

HP all-in-one は 「**hpsetup**」 と名づけられたネットワーク プロファイルが設定されるようになっています。 しかし、セキュリティとプライバシーの点では、ここで説明した手順に従って Macintosh に新しいネットワーク プロファイルを作成することをお勧めします。ワイヤレス セットアップ ウィザードを使用して、（次のセクションで説明する手順で）新しいネットワークを検出してください。

Mac OS X に新しいネットワーク プロファイルを作成するには

1 AirMac の電源が入っていることを確認してください。



AirMac アイコン

これを確認するには、画面右上にある AirMac アイコンをクリックしてください。
「**AirMac を入にする**」 が表示されている場合はこれを選択し、AirMac の電源を入れてください。
AirMac アイコンが表示されていない場合は、以下の手順に従ってください。

a 「**ネットワーク初期設定**」 の画面上で、 「**AirMac**」パネルを選択してください。
b 「**このコンピュータがネットワークを作成するのを許可する**」 を有効にします。
c 「**メニューバーに AirMac の状況を表示する**」 を有効にします。

2 メニューバーの「**AirMac**」 アイコンをクリックします。
3 「**ネットワークの作成...**」 を選択します。
4 「**コンピュータ ツー コンピュータ**」 ダイアログで、 「**名前**」 ボックスをクリックし、新しいネットワーク ネームを入力します。
例えば、 「**Mynetwork**」 の名前(またはイニシャルなど、何か意味のある語)を入力します。

注記 「**Mynetwork**」 の 「**M**」 は大文字で、残りの文字は小文字であることに注意してください。 このことは、後にワイヤレス セットアップ ウィザードで SSID を入力する必要がある場合に重要なので覚えておいてください。

5 「**チャンネル**」 ボックスでは、デフォルトの 「**自動**」 の設定を使用してください。
6 「**このオプションを表示**」 をクリックします。
7 セキュリティのための暗号化を有効にするには、 「**暗号化**」 のチェックボックスを選択します。
8 「**パスワード**」 ボックスに、 「**ぴったり**」 5 文字、または 「**ぴったり**」 13 文字の英数字(ASCII) のパスワードを入力してください。 例えば 5 文字入力する場合は、 「**ABCDE**」 または 「**12345**」 のように入力します。 また、13 文字入力する場合は、 「**ABCDEF1234567**」 のように入力します。
あるいは、 パスワードに、HEX（16 進数）の数字を使用することもできます。 A HEX WEP キーは 40 ビット 10 文字 の暗号か、 128 ビット 26 文字の暗号でなければなりません。 ASCII と HEX の定義については、用語集 をご参照ください。
9 「**確認**」 ボックスに、同じパスワードを入力します。

10 HP all-in-one で 「**WEP キー**」 と呼ばれるパスワードを書き留めます。ワイヤレス セットアップ ウィザードを使ってセットアップする際、WEP キーが必要になります。
11 「**OK**」 をクリックします。
12 HP all-in-one に戻り、ワイヤレス セットアップ ウィザードを使って HP all-in-one をワイヤレス ネットワークに接続してください。ワイヤレス セットアップ ウィザードを使ったネットワークの接続を参照してください。

ワイヤレス セットアップ ウィザードを使ったネットワークの接続

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**8**」 を押し、次に 「**4**」 を押します。
「ネットワーク」 メニューが表示され、「ワイヤレス設定ウィザード」 が選択されます。 このセットアップ ウィザードは利用可能なネットワークを検索し、検出されたネットワーク名 （SSID）の一覧を表示します。
3 カラー グラフィック ディスプレイ上で、作成したネットワーク名（例えば、Mynetwork）を確認してください。
4 矢印キーを使用してネットワーク名を選択し、 「**OK**」 を押します。
ネットワーク名を確認して選択したら、ステップ 5 に進んでください。
ネットワーク名がリストに「**ない**」場合は、以下の手順に従ってください。
   a 「**新規ネットワーク名 (SSID) を入力する**」 を選択します。
   ビジュアル キーボードが表示されます。
   b SSID を入力します。 HP all-in-one のコントロール パネルの矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の文字や数字を選択し、「**OK**」 を押して確定します。
   ビジュアル キーボードの使用に関する詳細については、HP all-in-one に付属の『ユーザー ガイド』を参照してください。

   注記 大文字と小文字は 「**正確に**」 区別して入力してください。 大文字と小文字を間違えると、ワイヤレス接続に失敗します。

   c 新しい SSID の入力が終了したら、矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の 「完了」 を選択し、 「**OK**」 を押します。
   d 「**2**」 を選択し、アドホック モードを選択します。
   e 「**2**」 を押して 「はい、このネットワークは WEP 暗号化を使用」 を選択し、ビジュアル キーボードを表示します。
   WEP 暗号化を使用したく 「**ない**」 場合は、 「**1**」 を押して、 「いいえ、このネットワークは暗号化不使用」 を選択します。 「設定の

確認」 画面が表示されたら、 「OK」 を押し、ステップ 8 へ進みます。

5 このステップは WEP キー を使用する場合のみ行ってください。 WEP キー を使用しない場合は、ステップ 8 に進んでください。) WEP キーを入力します。 矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の文字や数字を選択し、 「**OK**」 を押して確定します。

注記 大文字と小文字は 「**正確に**」 区別して入力してください。 大文字と小文字を間違えると、ワイヤレス接続に失敗します。

WEP キーが無効、のメッセージが表示された場合は、新しいネットワーク用に書き留めたキーを確認し、再度キーを入力してください。

6 WEP キーの入力が終了したら、矢印ボタンを使用してビジュアル キーボード上の 「完了」 を選択し、 「**OK**」 を押します。

7 「**OK**」 を押して確認します。

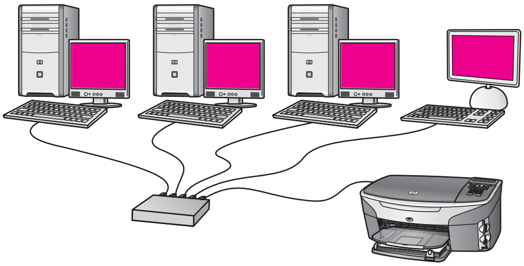
HP all-in-one が SSID に接続をを試みます。 接続に失敗した場合は、WEP キーを正しく入力し直すプロンプトに従ってもう一度試行します。

8 HP all-in-one がネットワークの接続に成功したら、お使いのコンピュータに戻ってソフトウェアをインストールしてください。ソフトウェアのインストール を参照してください。

注記 問題が発生した場合は、 ネットワークのトラブルシューティング を参照してください。

6 Ethernet ケーブルで接続する

本章では、HP all-in-one をルーター、スイッチ、またはアクセス ポイントに Ethernet ケーブルを使用して接続する方法について説明します。



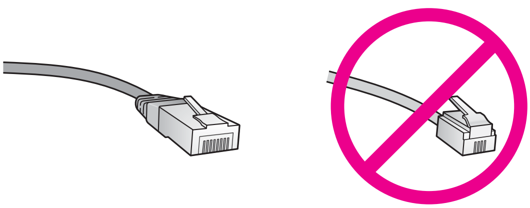
有線ネットワークの設定については、推奨される Ethernet ネットワークの選択 を参照してください。

注記 用語の定義が本章に記載されていないものについては、用語集 を参照してください。

HP all-in-one をコンピュータへ接続するには、まず次のセクションを参照して、準備するものを確認してください。 HP all-in-one の接続が完了したら、ソフトウェアのインストール を参考にして必要なソフトウェアをインストールします。

準備するもの

- Ethernet ルーター、スイッチまたはワイヤレス アクセス ポイントをもつ、稼働中の Ethernet ネットワーク
- CAT-5 Ethernet ケーブル、お手持ちの Ethernet ケーブルの長さがネットワークの設定に足りない場合、十分な長さのケーブルを購入することをお勧めします。



標準の Ethernet ケーブルは普通の電話ケーブルと似ていますが､互換性はありません。 この 2 種類のケーブルでは線の本数が異なり、また異な

るコネクタが付いています。 Ethernet ケーブル コネクタ (すなわち RJ-45 コネクタ) は幅が広く厚みがあり、末端の接触部分は常に 8 箇所あります。 電話ケーブルのコネクタは接触部分が 2 箇所から 6 箇所の間です。

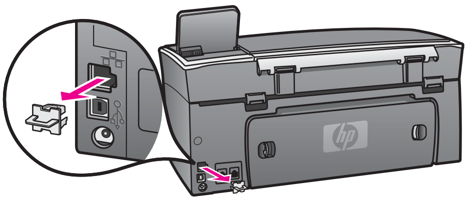
- ルーターまたはアクセス ポイントへ有線またはワイヤレス接続をもつデスクトップ コンピュータまたはノートパソコン

  注記 HP all-in-one は 10 Mbps および 100 Mbps Eithernet ネットワークへ接続可能です。 ネットワーク インターフェース カード (NIC) の購入をお考え場合、または既にご購入済みの場合、この両方の速度で動作することを確認してください。

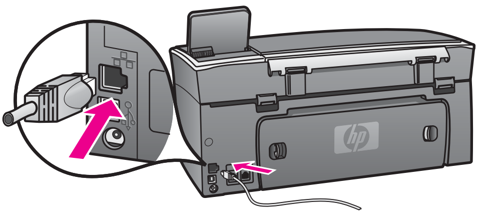
- ケーブルおよび DSL 等のブロードバンド インターネット アクセス (「**HP Instant Share**」 にデバイスから直接アクセスしたい場合のみ)。 HP Instant Share についての詳細は、HP all-in-one に付属の『ユーザー ガイド』 (印刷物） を参照してください。

HP all-in-one の接続

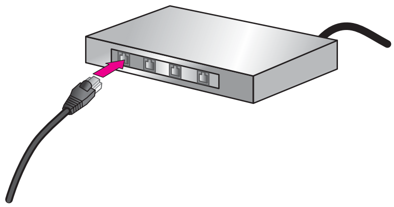
1 HP all-in-one の後部から黄色のプラグを抜きます。



2 HP all-in-one の後部にある Ethernet ポートに Ethernet ケーブルを接続します。



3 Ethernet ケーブルのもう一方の端を Ethernet ルーター、スイッチまたはワイヤレス アクセス ポイントの空いているポートに接続します。



4 HP all-in-one のネットワークへの接続が完了したら、コンピュータへソフトウェアをインストールします。ソフトウェアのインストールを参照してください。

7 ソフトウェアのインストール

本章では HP all-in-one のソフトウェアの Windows または Macintosh コンピュータへのインストールについて説明します。 ソフトウェアをインストールする前に、これまでの章を参考にして HP all-in-one がネットワークに接続されていることを確認してください。

注記 1 複数の WEP キーを使用しているか、拡張認証プロトコル (EAP/802.1x か EAP-PSK) と暗号化方式 （WPA） を使用する予定の場合は､埋め込み Web サーバを使用してワイヤレス設定を行ってからソフトウェアをインストールします｡詳細については、埋め込み Web サーバーを使用するを参照してください。

注記 2 コンピュータが一連のネットワーク ドライブに接続するよう設定する場合、ソフトウェアをインストールする前に、コンピュータが現在それらのドライブに接続されていることを確認してください。 さもないと、HP all-in-one のインストール ソフトウェアがネットワーク ドライブに割り当てられた予約済みドライブ名を使用する可能性があり、そのネットワーク ドライブ名へのアクセスが不可能になります。

お手持ちのコンピュータの OS が Windows または Macintosh コンピュータかに応じて、下記の手順を参照してください。

Windows の場合

この後の説明は､Windows コンピュータだけに適用されます。

注記 インストールに要する時間は､お使いの OS、空いているディスク スペース、プロセッサの速度などによって異なりますが、20 分から 45 分かかります。

HP all-in-one のソフトウェアをインストールするには

1 実行中の全てのアプリケーションを終了します。これには OS 内の XP ファイヤーウォールやその他のファイヤーウォール、ウイルス対策用ソフトウェアも対象です。

2 HP all-in-one に付属する Windows 用の CD をお使いのコンピュー の CD-ROM ドライブに挿入します。

   「ようこそ」 画面が表示されます。

   注記 スタートアップの画面が表示されない場合、CD 上の **「setup.exe」** ファイルをダブルクリックしてください。

3 システムの点検および準備のためのインストール画面、また、ドライバー、プラグインおよびソフトウェアのインストール画面では、**「次へ」** をクリックします。

さらにいくつかの画面を経て、「**接続タイプ**」 画面が表示されます

4 「**接続タイプ**」 画面で 「**ネットワークを介して接続**」 を選択し、「**次へ**」 をクリックします。

セットアップ プログラムがネットワーク上の HP all-in-one を検索している間、「**検索中**」 画面が表示されます。

5 「**プリンタが検出されました**」 画面で、そのプリンタについての詳細が正しいことを確認してください。

ネットワーク上で複数のプリンタが検出されると、「**プリンタが見つかりました**」 画面が表示されます。接続するデバイスを選択してください。

お使いの HP all-in-one に対してのデバイスの設定を参照するには

a お使いのデバイスのセットアップボタンを押します。
b 「ネットワーク メニュー」 で 「ネットワーク設定を表示」 を選択した後、「概要を表示」 を選択します。

注記 ソフトウェアが HP all-in-one を検出できない場合、インストール中に [プリンタが検出されませんでした] 画面が表示されるを参照してください。

6 デバイスの説明が正しい場合、「**はい、このプリンタをインストールします**」 を選択します。

7 コンピュータの再起動をメッセージに合わせて行い、インストール処理を終了します（XP では再起動しない場合もあります）。

ソフトウェアのインストールが完了したら、HP all-in-one の準備は完了です。

8 ネットワークへの接続を確認するには、お使いのコンピュータから HP all-in-one へテスト ページの印刷を行います。 詳細については、HP all-in-one に付属の 『ユーザー ガイド』 (印刷物) を参照してください。

Macintosh の場合

この後の説明は、Macintosh コンピュータだけに適用されます。

注記 インストールに要する時間は、お使いの OS、空いているディスク スペース、プロセッサの速度などによって異なりますが、20 分から 45 分かかります。

HP all-in-one のソフトウェアをインストールするには

1 実行中の全てのアプリケーションを終了します。
2 HP all-in-one に付属の Macintosh 用の CD を、お使いのコンピュータ の CD-ROM ドライブに挿入します。
3 「**HP all-in-one インストーラ**」 アイコンをダブルクリックします。



Macintosh 用インストーラ アイコン

4 「**認証**」 画面で、コンピュータやネットワークへのアクセスに使用される、管理者用パスワードを入力してください。
このインストーラ ソフトウェアは HP all-in-one デバイスを検索して一覧を表示します。
5 [デバイスの選択] 画面で、HP all-in-one を選択します。
6 画面上の指示に従って、「**設定アシスタント**」 を含む全てのインストール作業を完了してください。
ソフトウェアのインストールが完了したら、HP all-in-one の準備は完了です。
7 ネットワークへの接続を確認するには、お使いのコンピュータから HP all-in-one へテスト ページの印刷を行います。 詳細については、お買い求めのデバイスに付属の『ユーザー ガイド 』(印刷物) を参照してください。

8 ネットワークの管理

本章では、デバイスのコントロール パネルと Embedded Web Server 上のネットワーク ツールの使用法について説明します。 これらのツールを使用すると、ネットワーク構成の表示や編集をしたり、ネットワークのセキュリティを強化したりできます。

HP all-in-one のコントロール パネルを使用する

HP all-in-one のコントロール パネルを使用して、多様なネットワーク管理タスクを実行することができます。例として、各種ネットワーク設定の表示、ネットワーク デフォルトの回復、無線のオン、オフの切り替え、各種ネットワーク設定の変更等があります。

ネットワーク設定の表示

デバイスのコントロール パネルに各種ネットワーク設定を表示することができます。 または、より詳細な設定情報のページを印刷することができます。

ネットワーク概要を表示する

ネットワーク概要の表示または詳細レポートの印刷を選択します。

ネットワーク概要を表示するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**8**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「ネットワーク メニュー」 が選択され、「ネットワーク設定を表示」 が選択されます。
3 「**2**」 を押します。
これで、ネットワーク設定の概要が表示されます。

プリンタとネットワーク構成ページの表示

「ネットワーク構成ページ」には、IP アドレス、リンク速度、DNS、DNS-SD 等、全ての重要なネットワーク構成が表示されます。

ネットワーク構成ページを印刷するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**8**」 を押し、次に 「**1**」 を押します。
「ネットワーク メニュー」 が選択され、「ネットワーク設定を表示」 が選択されます。
3 「**1**」 を押します。
これにより、ネットワーク構成ページが印刷されます。

構成ページにあるアイテムの定義については、構成ページの定義 を参照してください。

ネットワーク デフォルトに戻す

必要に応じて、HP all-in-one ネットワークの設定を工場出荷時の初期設定に戻すことができます。

注記　この場合、入力された全てのワイヤレスの設定情報が消去されます。この情報を再度保存するには、ワイヤレス設定ウィザードを再度実行する必要があります。

工場出荷時の初期設定に戻すには

1 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**8**」 を押し、次に 「**2**」 を押します。
「ネットワーク メニュー」 が選択され、「ネットワーク デフォルトに戻す」 が選択されます。
3 「**1**」 を押して確定します。

無線のオンとオフを切り替える

無線はデフォルトでオンになっています。これは HP all-in-one の前面のブルーのインジケータで示されます。 ネットワークへの接続を保つには、無線を常にオンにしておく必要があります。 しかし、ネットワークに接続されておらず、USB 接続のみ可能な場合は、無線は使用されません。 この場合、無線をオフにしておくことをお勧めします。

無線をオンにするには

1 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**8**」、「**5**」、「**1**」 の順に押します。

無線をオフにするには

1 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**8**」、「**5**」、「**2**」 の順に押します。

詳細なネットワーク設定

「詳細設定」 オプションでは、リング速度、各種 IP 設定、メモリー カードのセキュリティについての設定を変更することができます。

注記　上級ユーザーの方を除いては、これらの設定を変更しないことをお勧めします。

リンク速度を設定する

ネットワーク上でのデータ転送速度を変更することができます。 デフォルトの設定は 「自動」 です。

リンク速度を設定するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**8**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「ネットワーク メニュー」 が表示され、「詳細設定」 が選択されます。
3 「**1**」 を押して、「リンク速度を変更する」 を選択します。
4 変更後のリンク速度の横に表示されている番号を押します。
– 「**1. 自動**」
– 「**2. 10 Mb/sec 全二重通信**」
– 「**3. 10 Mb/sec 半二重通信**」
– 「**4. 100 Mb/sec 全二重通信**」
– 「**5. 100 Mb/sec 半二重通信**」

IP 設定の変更

デフォルトの IP 設定は 「自動」 です。 必要に応じて、IP アドレス、サブネット マスク、デフォルトゲートウェイをそれぞれ手動で変更できます。 HP all-in-one の IP アドレスとサブネット マスクを参照するには、ネットワーク構成ページを HP all-in-one から印刷してください。(プリンタとネットワーク構成ページの表示を参照) 構成ページにある IP アドレスやサブネット マスク等のアイテムについての説明は、構成ページの定義 を参照してください。

IP 設定を変更するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**8**」 を押し、次に 「**3**」 を押します。
「ネットワーク メニュー」 が表示され、「詳細設定」 が選択されます。
3 「**2**」 を押して、「**IP 設定**」 を選択します。
4 変更後のリンク速度の横にある番号を押します。
– 「**1. IP アドレス**」
– 「**2. サブネットマスク**」
– 「**3. デフォルトゲートウェイ**」
5 変更を入力し、完了したら 「**OK**」 を押します。

メモリ カードのセキュリティを変更する

「詳細設定」 メニューの「メモリ カードのセキュリティ」 オプションでは、HP all-in-one が「**ワイヤレス**」 ネットワーク上のコンピュータとメモリ カードを共有するための設定を行うことができます。 この設定を行うと、お使いのコンピュータからメモリ カードへアクセスできなくなるため、お勧めし

ません。 また、この機能は Ethernet ネットワーク上では機能しません。 Etherne ネットワーク上の全てのコンピュータはそのネットワークに接続されている HP all-in-one のメモリ カードにアクセスすることができます。

メモリ カードのセキュリティを確保したい場合、WEP または WPA-PSK セキュリティの使用をお勧めします。 メモリ カードのセキュリティについての詳細は、HP all-in-one に付属の 『ユーザー ガイド』(印刷物) を参照して下さい。 ワイヤレス ネットワークのセキュリティ設定については、アクセス ポイントによるワイヤレス ネットワークへの接続 と アクセス ポイントを使用しないワイヤレス ネットワークの接続 を参照してください。 その他、ネットワークのセキュリティを強化する もご覧ください。

埋め込み Web サーバーを使用する

HP all-in-one のコントロール パネルは、HP all-in-one の一般的なネットワーク設定の管理に最適です。 しかし、さらに詳細な設定は 埋め込み Web サーバー (EWS) を使用して行うことができます。 ご使用の Web ブラウザから、状態の監視、HP all-in-one のネットワーキング パラメータの設定、および HP all-in-one の機能を使用することができます。 EWS のこれらの機能およびその他の機能についての詳細は、埋め込み Web サーバー内のオンスクリーン ヘルプを参照してください。　埋め込み Web サーバーのヘルプにアクセスするには、以下の手順で 埋め込み Web サーバー を開き、埋め込み Web サーバーの 「**ホーム**」 タブ上の 「**他のリンク**」 にある 「**ヘルプ**」 リンクをクリックします。

埋め込み Web サーバーへのアクセス

埋め込み Web サーバーにアクセスするには

1 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**8**」、「**1**」、「**1**」 の順に押します。
これにより IP アドレスを含む、 HP all-in-one の構成ページが印刷されます。 次の手順で、IP アドレスを使用します。
3 ブラウザーの「**アドレス**」 ボックスに、ネットワーク構成ページに表示されている HP all-in-one の IP アドレスを入力します。 例として、http://195.168.0.5 のように入力します。
HP all-in-one のデバイス情報を示す、埋め込み Web サーバーの 「**ホーム**」 ページが表示されます。

注記　埋め込み WEB サーバへアクセスする場合は、プロキシサーバを無効にすることをお勧めします。

4 埋め込み Web サーバーで表示される言語を変更する場合、以下のように行います。
a 「**設定**」 タブをクリックします。

b **「設定」** ナビゲーション メニューの **「言語の選択」** をクリックします。

c **「言語の選択」** 一覧で、適切な言語をクリックします。

d **「適用」** ボタンをクリックします。

5 **「ホーム」** タブをクリックすると、プリンタとネットワークに関する情報を確認できます。また、**「ネットワーク」** タブをクリックすると、ネットワーク情報の詳細を確認したり、ネットワーク情報を変更したりできます。

注意　プリント サーバーのワイヤレス ネットワーク設定を変更するときは、十分に気を付けてください。場合よっては接続できなくなることがあります。ネットワーク接続できなくなった場合、再接続のために新しい設定が必要になることがあります。プリント サーバーがネットワークに接続できなくなった場合には、工場出荷時の初期設定に戻して、ソフトウェアを再インストールする必要があります。

注記　コンピュータの TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) を無効にしないでください。 埋め込み Web サーバーとの通信に必要です。

ネットワークのセキュリティを強化する

他のネットワークと同様に、ワイヤレス LAN (WLAN) でも、主なセキュリティはアクセス制御とプライバシー保護です。従来の WLAN セキュリティには、サービス設定 ID (SSIDs)の使用、公開キーや共有キーによる認証、静的 Wired Equivalent Privacy(WEP) キー、オプションの媒体アクセス制御 (MAC) による認証などが含まれます。これらを組み合わせると、初歩的なレベルのアクセス制御とプライバシー保護を利用できます。

アクセス ポイントを使用している場合、Wi-Fi Protected Access の 事前共有キー (WPA-PSK) 等、WLAN 上での暗号化と認証のための詳細フォームを使用することをお勧めします。 用語の定義が本章に記載されていないものについては、用語集 を参照してください。

ワイヤレス ネットワークを保護するには、セットアップ時にワイヤレス セキュリティ方式 (WEP か WPA) を導入することを強くおすすめします。また、コンピュータ ウィルスを防ぐアンチウィルス プログラムの使用、わかりにくいパスワードを設定、不明な添付ファイルは開かないなどの、基本的なセキュリティ ルールを守ることをおすすめします。ファイアウォール、侵入検知システム、ネットワークのセグメント化など、その他のネットワーク コンポーネントもネットワーク設計の一環として検討してください。

注記　HP all-in-one を設置した後に暗号化と認証をネットワークに追加する場合は、HP all-in-one の設定を変更してから、ネットワークの他のノードの設定を変更します。

WPA-PSK セキュリティを追加するには

注記　暗号化または認証の設定をネットワークの他のデバイスに適用しないと、HP all-in-one には接続できません。

1　実行中の全てのアプリケーションを終了します。 Windows コンピュータでは、ファイヤ-ウォールやウィルス検出用ソフトウェアも終了します。
2　ご使用のワイヤレス アクセス ポイント、ルーター、またはゲートウェイで WPA-PSK をセットアップします。
3　1 でセットアップした機器と同じワイヤレス ネットワークに接続するワイヤレス コンピュータで、WPA-PSK をセットアップします。
4　埋め込み Web サーバーへのアクセス を参照して、埋め込み Web サーバーを開きます
5　「**ネットワーク**」 タブをクリックします。
　「**デバイス**」 ページが表示されます。
6　「**接続**」 ナビゲーション メニューの 「**ワイヤレス (802.11)**」 を選択します。
7　「**詳細**」タブを選択します。
8　ネットワーク名（SSID）を入力します。
9　「**インフラストラクチャ**」 を選択します。
10　「**WPA-PSK 認証**」 をクリックし、「**暗号化**」 を選び 「**パスフレーズ**」（パスワード）を入力します。
11　「**パスフレーズの確認**」（パスワードの確認）を入力します。
12　情報が正しいことを確認し、「**適用**」 をクリックします。
13　高度な認証方式とセキュリティ方式を利用できるように HP all-in-one を適切に設定します。

WEP の暗号化を追加するには

注記　暗号化または認証の設定をネットワークの他のデバイスに適用しないと、HP all-in-one には接続できません。

1　ご使用のワイヤレス アクセス ポイント、ゲートウェイ、またはルーターで WEP をセットアップします。
2　1 でセットアップした機器と同じワイヤレス ネットワークに接続するワイヤレス コンピュータで、WEP をセットアップします。
3　埋め込み Web サーバーへのアクセス に従って、埋め込み Web サーバーを開きます
4　「**ネットワーク**」 タブをクリックします。
　「**デバイス**」 ページが表示されます。
5　「**接続**」 ナビゲーション メニューの 「**ワイヤレス (802.11)**」 を選択します。
6　「**ウィザードを開始**」 をクリックします。
　「**ワイヤレス ネットワーク名**」 ページが表示されます。

7 検出されたネットワークの一覧にあるネットワーク名 (SSID) をクリックするか、新しいワイヤレス ネットワークの名前を入力します。
8 「**次へ**」 をクリックします。
9 「**WEP キー**」 を入力します。
10 「**WEP キーの確認**」 を入力します。キーインデックスを選択します。
11 「**次へ**」 をクリックします。
12 設定内容を確認し「**終了**」 をクリックします。

9 ネットワークのトラブルシューティング

ここでは、HP all-in-one のネットワークに関するトラブルシューティング情報について説明します。またインストールおよび設定に関する問題について詳しく説明します。

有線の問題については、 有線ネットワークのセットアップに関するトラブルシューティング を参照してください。

ファイル システムの問題については、 Common Internet File System トラブルシューティング を参照してください。

ワイヤレス セットアップ ウィザードに関するトラブルシューティング

このセクションでは、 ワイヤレス セットアップ ウィザード使用中に発生する可能性のある問題を説明します。ワイヤレス ネットワークのセットアップとデバイス検出についての詳細は、ワイヤレス ネットワークのセットアップに関するトラブルシューティング および ワイヤレスでの検出に関するトラブルシューティングを参照してください。

エラー メッセージ： ネットワークに接続できません

原因

機器の電源がオフになっています。

解決方法

インフラストラクチャ ネットワークのアクセスポイント、またはアドホック ネットワークのコンピュータなど、ネットワークでつながれたデバイスの電源をオンにしてください。

原因

HP all-in-one が信号を受信していません。

解決方法

アクセス ポイントと HP all-in-one の距離を近づけます。次に HP all-in-one ワイヤレス セットアップ ウィザードをもう一度実行します。詳細については、セットアップが失敗したを参照してください。

原因

SSID が正しく入力されていません。

解決方法

SSID を正しく入力してください。SSID は大文字と小文字を区別します。

原因

間違ったモード（アドホックまたはインフラストラクチャ）、またはセキュリティ タイプを入力しました。

解決方法

正しいモード、またはセキュリティ タイプを選択してください。

エラー メッセージ : ネットワークに接続できません。 サポートされない認証か暗号化タイプです。

原因

インストール ソフトウェアがサポートしていない認証プロトコルがネットワークに設定されています。

解決方法

埋め込み Web サーバーにリストされた、サポートしている認証プロトコルのいずれかを使用してください。サポートされて「**いない**」プロトコル タイプは、 WPA2-AES, WPA2-TKIP, LEAP, PEAP, EAP-MD5, EAP-TLS, EAP-TTLS です。

エラー メッセージ : 無効なパスキーです。

原因

WPA パスキーが正しく入力されていません。

解決方法

パスキーが 8 文字から 63 文字までの英数字であることを確認し、正しく入力してください。

原因

WEP キーがわからない、または WPA パスキーの入力の仕方がわからない。

解決方法

アクセス ポイントに付属のマニュアルを参照してください。WEP キーはアクセス ポイント内に保存されています。 通常は、 お使いのコンピュータからアクセス ポイントにログインすると、WEP キーを確認することができます。

SSID が見当たらない

原因

お使いのアクセス ポイントが自身のネットワーク名 (SSID) をブロードキャストしていないか、またはアクセス ポイントが範囲外です。

解決方法

ワイヤレス セットアップ ウィザードの 「**新規ネットワーク名 (SSID) を入力する**」 オプションを使用してください。詳細については、ネットワークへの接続を参照してください。 また、アクセス ポイントに付属のユーザー ガイドを参照して、アクセス ポイントの設定も確認してください。

原因

リストの末尾に SSID が見当たりません。

解決方法

▼ を押して、リストの末尾までスクロールしてください。 インフラストラクチャのエントリは最初に、アドホックは最後にリストされています。

ワイヤレス ネットワークのセットアップに関するトラブルシューティング

ここでは、ワイヤレス ネットワークのセットアップに関する問題の解決方法を説明します。

システム要件エラー：TCP/IP が存在しません

原因

ローカル エリア ネットワーク (LAN) カード (NIC) が正しく取り付けられていません。

解決方法

LAN カードが正しく装着され、TCP/IP 用に設定されていることを確認します。LAN カードに付属しているマニュアルを参照してください。

インストール中に [プリンタが検出されませんでした] 画面が表示される

原因

ソフトウェアはネットワークの検出に失敗しました。

解決方法

インストール ソフトウェアを使用し、以下の IP アドレスで HP all-in-one を指定します。

1 「**プリンタが検出されませんでした**」 画面で、 「**次へ**」 クリックします。

2 「**接続の種類**」 画面で、([ワイヤレス]ではなく) 「**ワイヤードネットワーク**」 を選択します。
3 「**ケーブル接続の確認**」 画面で、 「**プリンタをアドレスで指定**」 を選択してください。
4 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
5 「**8**」 を押して、 「**1**」 を押し、 「**2**」を押します。
IP アドレスなど、HP all-in-one のネットワーク設定の一覧がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。 次のステップで、IP アドレスを使用します。
6 「**プリンタの指定**」 画面で、 「**IP アドレス**」 を選択し、 HP all-in-one に IP アドレスを入力します。
7 画面の指示に従って 「**次へ**」 をクリックして続行します。 「**設定の変更**」 を選択したり、ケーブルをデバイスに接続したりしないでください。 デバイス検出に失敗する原因となります。

原因

HP all-in-one の電源が入っていません。

解決方法

HP all-in-one の電源をオンにします。

原因

ネットワーク接続がアクティブになっていません。

解決方法

ネットワーク接続がアクティブになっていることを確認してください。

ネットワーク接続を確認するには

1 HP all-in-one のカバーにある無線 ON インジケータで、ワイヤレスがオンになっていることを確認してください。
2 インジケータ ランプが点灯していない場合は、次の手順に従います。
  a HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
  b 「**8**」 を押して、 「**5**」 を押し、 「**1**」を押します。
3 ランプが点灯しているか、またはステップ 2 の結果として点灯した場合は、「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源を切り、再度同じボタンを押して電源を入れ直します。 ルーターの電源も一度切って入れ直してください。

原因

無線が干渉しています。

解決方法

コンピュータと HP all-in-one の間が離れている場合には、お互いが近づくよう移動させてください。可能な場合、コンピュータとプリント サーバーの間の経路の障害を取り除き、無線の障害物を最小限にしてください。コードレス電話や電子レンジなどのデバイスも、無線干渉の原因になることがあります。

インストール時にネットワーク名を決定または確認できない

原因

セットアップ プログラムが複数のネットワークを検出したか、アクセスポイントからネットワーク名を読み取れなかったか確認できなかった可能性があります。

解決方法

ネットワーク名を選択 (SSID)

新しいネットワーク名を選択するには、以下のいずれかの方法を実行します。

- 「**ネットワーク名を選択**」 画面で、新しい SSID を入力します。 「**ワイヤレス ネットワーク名 (SSID)**」 の入力を選択した場合は、「**通信モード**」 (「**アドホック**」 か 「**インフラストラクチャ**」) も選択しなければなりません。

  注記 SSID エントリは大文字と小文字を区別し、またスペースを含む最大 32 個の英数字で構成できます。 「**ネットワーク名**」 のボックスを空白にしておくことはできません。

- 「**ネットワーク名を選択**」 画面で、リストから既存のネットワーク名を選択します。 リストには SSID が最大 12 個まで表示されます。 SSID は内部ネットワーク コンポーネントのブートアップ時に検出されます。

インストールの最後で検証に失敗する

原因

正しいワイヤレス認証または暗号化方式が選択されていない可能性があります。 サポートされていない認証または暗号化方式を使用している可能性があります。

解決方法

ネットワークに暗号化セキュリティを追加します。詳細については、ネットワークのセキュリティを強化するを参照してください。

原因

SSID か WEP キーの設定が間違っている可能性があります。

解決方法

埋め込み Web サーバーかコントロール パネル、どちらを使っても SSID または WEP を変更することができます。

コントロール パネルを使用するには

1 HP all-in-one のコントロール パネルの 「**セットアップ**」 ボタンを押します。
2 「**8**」 を押し、次に 「**4**」 を押します。
「ネットワーク」 メニューが表示され、「ワイヤレス セットアップ ウィザード」 が選択されます。
3 ▼ を押してお使いのネットワークを選択し、次に 「**OK**」 を押します。
4 プロンプトが表示されたら、ビジュアル キーボードを利用して新しい 「ネットワーク名」 と 「**WEP**」 キーを入力します。
5 ワイヤレス セットアップ ウィザードを完了します。

埋め込み Web サーバーを使用するには

1 Ethernet ケーブルが接続された状態で、ネットワーク構成ページを印刷します。詳細については、プリンタとネットワーク構成ページの表示を参照してください。
2 設定ページに示されるネットワーク SSID と WEP キーが、ワイヤレス ネットワークで使用しているものと一致していることを確認します。
3 いずれか一方、または両方が間違っている場合は、設定ページから入手した URL またはデバイス IP アドレスを、Web ブラウザの 「**アドレス**」 ボックスに入力します。 たとえば、http://195.168.0.5.
HP all-in-one 埋め込み Web サーバーのホーム ページが表示されます。
4 「**ネットワーク**」 タブをクリックします。

5 「**接続**」 ナビゲーション メニューで、「**ワイヤレス**」 をクリックします。
6 「**ウィザードを開始**」 をクリックします。
7 該当する部分 (「**ネットワーク名**」 および 「**暗号化**」) に正しい値を入力します。
8 「**適用**」 ボタンをクリックします。

原因

インストール ソフトウェアがサポートしていない認証プロトコルを使用しています。

解決方法

埋め込み Web サーバーにリストされた、サポートしている認証プロトコルのいずれかを使用してください。サポートされて「**いない**」プロトコル タイプは、 WPA2-AES, WPA2-TKIP, LEAP, PEAP, EAP-MD5, EAP-TLS, EAP-TTLS です。

原因

ネットワークで複数の WEP キーが使用されていますが、送信に間違ったキーが選択されました。

解決方法

埋め込み Web サーバーを使って正しい WEP キーを選択してください。詳細については、ネットワークのセキュリティを強化するを参照してください。

セットアップが失敗した

原因

HP all-in-one が信号を受信していません。

解決方法

HP all-in-one とアクセス ポイント (インフラストラクチャ) またはコンピュータ (アドホック) 間での良好な信号のやりとりを確立するには、いくつかの方法を試みる必要があります。機器が正しく機能していると仮定して、次のような処置を個別に、あるいは組み合わせてみます。

- コンピュータまたはアクセス ポイントと HP all-in-one の間が離れている場合には、お互いが近づくよう移動させてください。また、HP all-in-one は、前方と後方、上方にブロードキャストします。したがって、アクセス ポイントは HP all-in-one の真下には置かないでください。HP all-in-one が 2 階建ての家の 2 階にあり、アクセス ポイントは 1 階にある場合は、HP all-in-one とアクセス ポイントを家

の反対端に置くか、または左右できるだけ離して設置する必要があります。

- 送信経路に障害物が置いてある場合、HP all-in-one とコンピュータまたはアクセス ポイントの間の経路の障害物を取り除いてください。
- コードレス電話や電子レンジなど、無線信号を発する電子機器が周辺にある場合は、無線干渉を低減するためにそれらの機器を遠ざけて置いてください。

ワイヤレスでの検出に関するトラブルシューティング

ここでは、アクセス ポイントを持つワイヤレス ネットワークの問題の解決方法を説明します。

コンピュータが HP all-in-one を検出できない

原因

ケーブルが正しく接続されていません。

解決方法

以下のケーブルを点検して、正しく接続されていることを確認してください。

- HP all-in-one とルーターの電源コード
- ルーターとコンピュータの間のケーブル（該当する場合）
- モデムまたは HP all-in-one インターネット接続に使用されるケーブル (該当する場合)

原因

ネットワーク接続がアクティブになっていません。

解決方法

ネットワーク接続がアクティブになっているか確認します。

ネットワーク接続がアクティブになっていることを確認するには

1. HP all-in-one の正面にある無線 ON インジケータを確認します。ランプが青く点灯していれば、ワイヤレスはオンになっています。 このライトは HP all-in-one がネットワークに接続されているかどうかを示すものではありません。
2. ワイヤレスがオンの場合、カラー グラフィック ディスプレイのワイヤレス ネットワークのアイコンがアクティブになっているか確認します。



ネットワーク アイコン

左のアイコンはアクティブになっているワイヤレス ネットワークを示します。 右のアイコンはアクティブになっていないワイヤレス ネットワークを示します。
ワイヤレス ネットワークのアイコンがアクティブになっていない場合は、すべてのケーブルが正しく接続されているか確認してくださ

い。 ケーブルまたは DSL のモデム、ゲートウェイ、ルーターの接続も確認してください。

3 HP all-in-one がネットワークに接続されている場合、ワイヤレス ネットワークのアイコンで信号強度をチェックして、信号の強さが十分であることを確認します。

4 ネットワーク ランプが点灯していない場合は、 HP all-in-one からゲートウェイまたはルーターへのケーブル接続を点検し、きちんと接続されているか確認してください。

5 きちんと接続されていることが確認できたら、「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源を切り、再度同じボタンを押して電源を入れ直します。 ルーターの電源も一度切って入れ直してください。

原因

ファイアウォールにより HP all-in-one がコンピュータにアクセスできません。

解決方法

ファイアウォールを一時的に無効にし、ファイアウォールによって HP all-in-one がコンピュータにアクセスできなくなっているかどうかを調べます。ファイアウォールによりアクセスが制限されている場合は、HP all-in-one にアクセス許可を与えます。

HP all-in-one が WLAN/アクセス ポイントを検出できない (インフラストラクチャ)

原因

お使いのアクセス ポイントが自身のネットワーク名 (SSID) をブロードキャストしていません。

解決方法

アクセス ポイントが自身のネットワーク名 （SSID） をブロードキャストしていることを確認します。

原因

セットアップに失敗しました。

解決方法

アクセス ポイントの電源を切り、再度入れ直します。HP all-in-one ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールしてください。

ソフトウェアのアンインストールと再インストールの詳細については、HP all-in-one に付属する『ユーザー ガイド』を参照してください。

原因

アクセス ポイントが範囲外です。

解決方法

アクセス ポイントと HP all-in-one の距離を近づけます。HP all-in-one ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールしてください。

ソフトウェアのアンインストールと再インストールの詳細については、HP all-in-one に付属する『ユーザー ガイド』を参照してください。

原因

アクセス ファームウェアを更新する必要があります。

解決方法

製造メーカーの Web サイトで、お使いのアクセス ポイントを対象とするファームウェアのアップデートがあるか調べます。アクセス ポイントのファームウェアを更新します。HP all-in-one ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールしてください。

ソフトウェアのアンインストールと再インストールの詳細については、HP all-in-one に付属する『ユーザー ガイド』を参照してください。

コントロール パネルを使用してネットワーク上のコンピュータにスキャン画像を送信する際に、HP all-in-one がコンピュータを検出できない（インフラストラクチャ）

原因

ワイヤレス ネットワークが機能していません。

解決方法

アクセス ポイントの電源が入っていて正しく機能しているか確認します。 そして、コンピュータがアクセス ポイントと通信していることを確認します。

原因

HP all-in-one とコンピュータが同じネットワーク上に存在していません。

解決方法

HP all-in-one とコンピュータが同じ IP アドレスとサブネット マスクを持っていることを確かめ、両方とも同じネットワーク上にあることを確認します。 HP all-in-one の IP アドレスとサブネット マスクを確認するには、 HP all-in-one からネットワーク構成ページを印刷します（プリンタとネットワーク構成ページの表示を参照してください）。 IP アドレスやサブネット マスクなど、構成ページのアイテムの説明については、 構

成ページの定義 を参照してください。 IP アドレスまたはサブネット マスクを変更するには、 ネットワークの管理 を参照してください。

原因

アクセス ポイントの暗号化設定が正しくありません。

解決方法

アクセス ポイントの暗号化設定を確認します。アクセス ポイントと HP all-in-one では、同じ暗号化のキーと設定を使用しなければなりません。

原因

スキャン画像の送信先が 「**スキャン to**」 メニューに表示されない。

解決方法

お使いのコンピュータで HP ディレクタ を使用して、「**スキャン to**」 メニューに表示するアプリケーションとその他の送信先を指定してください。

HP all-in-one がコンピュータを検出できない(アドホック)

原因

ネットワークが機能していません。

解決方法

別のワイヤレス デバイスを使用して、ワイヤレス アドホック ネットワークが機能していることを確認します。

原因

HP all-in-one の電源が入っていません。

解決方法

HP all-in-one のカラー グラフィック ディスプレイを確認してください。カラー グラフィック ディスプレイに何も表示されておらず、「**On**」 ボタンが点灯していない場合は、HP all-in-one の電源が入っていません。HP all-in-one の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。「**On**」 ボタンを押して、HP all-in-one の電源を入れてください。

原因

HP all-in-one とコンピュータが同じネットワーク上に存在していません。

解決方法

HP all-in-one とコンピュータが同じ IP アドレスとサブネット マスクを持っていることを確かめ、両方とも同じネットワーク上にあることを確認します。 HP all-in-one の IP アドレスとサブネット マスクを確認するには、 HP all-in-one からネットワーク構成ページを印刷します（プリンタとネットワーク構成ページの表示を参照してください）。 IP アドレスやサブネット マスクなど、構成ページのアイテムの説明については、 構成ページの定義 を参照してください。 IP アドレスまたはサブネット マスクを変更するには、 ネットワークの管理 を参照してください。

原因

コンピュータのワイヤレス アダプタが自身のネットワーク名 （SSID）をブロードキャストしていません。

解決方法

コンピュータのワイヤレス アダプタが自身のネットワーク名 （SSID）をブロードキャストしていることを確認します。 HP all-in-one からネットワーク構成ページを印刷し（プリンタとネットワーク構成ページの表示 を参照してください）、SSID のワイヤレス アダプタがネットワーク構成ページに表示されているか確認してください。ワイヤレス アダプタが自身の SSID をブロードキャストしていない場合は、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

原因

暗号化設定が正しくありません。

解決方法

アクセス ポイントの暗号化設定を確認します。アクセス ポイントと HP all-in-one では、同じ暗号化のキーと設定を使用しなければなりません。

原因

ワイヤレス アダプタのファームウェアを更新する必要があります。

解決方法

製造メーカーの Web サイトで、お使いのワイヤレス アダプタを対象とするファームウェアのアップデートがあるか調べます。

原因

HP all-in-one のソフトウェアのセットアップに失敗しました。

解決方法

HP all-in-one ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールしてください。

ソフトウェアのアンインストールと再インストールの詳細については、HP all-in-one に付属する『ユーザー ガイド』を参照してください。

有線ネットワークのセットアップに関するトラブルシューティング

ここでは、有線ネットワークのセットアップに関する問題の解決方法を説明します。

コンピュータが HP all-in-one を検出できない

原因

ケーブルが正しく接続されていません。

解決方法

以下のケーブルを点検して、正しく接続されていることを確認してください。

- HP all-in-one とルーターの電源コード
- ルーターとコンピュータ間のケーブル
- モデムまたは HP all-in-one インターネット接続に使用されるケーブル (該当する場合)

原因

ローカル エリア ネットワーク (LAN) カード (NIC) が正しく設定されていません。

解決方法

LAN カードが正しく設定されていることを確認します。

Windows XP で LAN カードを確認するには

1 「**マイ コンピュータ**」 を右クリックします。
2 「**システムのプロパティ**」 ダイアログ ボックスで、「**ハードウェア**」 タブをクリックします。
3 「**デバイス マネージャ**」 をクリックします。
4 お使いのカードが 「**ネットワーク アダプタ**」 に表示されていることを確認します。
5 お使いのカードに付属するマニュアルを参照してください。

原因

ネットワーク接続がアクティブになっていません。

解決方法

ネットワーク接続がアクティブになっているか確認します。

ネットワーク接続がアクティブになっていることを確認するには

1 カラー グラフィック ディスプレイで有線ネットワークのアイコン (左下) が表示されているか確認します。アイコンが表示されている場合、HP all-in-one はネットワークに接続されています。
左のアイコンはアクティブになっている有線ネットワークを示します。右のアイコンはアクティブになっていない有線ネットワークを示します。



有線ネットワーク アイコン

2 有線ネットワークのアイコンが表示されていない場合は、HP all-in-one からゲートウェイまたはルーターまでのケーブル接続を点検し、きちんと接続されていることを確認してください。
3 HP all-in-one が、CAT-5 Ethernet ケーブルでネットワークと接続されていることを確認します。
4 HP all-in-one の後部の RJ-45 Ethernet ジャックの上部と下部にある 2 つの Ethernet インジケータ ランプを確認します。このランプは以下の状況を示します。
 a 上部のランプ - このランプが緑に点灯している場合、デバイスはネットワークに正しく接続されていて、通信は確立しています。上のランプが消えている場合、ネットワークに接続されていません。
 b 下部のランプ - デバイスがデータをネットワーク経由で送信または受信すると、この黄色のランプが光ります。
5 正しく接続されている場合、HP all-in-one の電源を入れ直してください。 HP all-in-one のコントロール パネルで、「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源を切り、再度同じボタンを押して電源を入れ直します。 ルーターの電源も一度切って入れ直してください。

アクティブなネットワーク接続を確立するには

1 有線ネットワークのアイコンがアクティブになっていない場合は、HP all-in-one からゲートウェイまたはルーターまでのケーブル接続を点検し、きちんと接続されていることを確認してください。
2 きちんと接続されていることが確認できたら、「**On**」 ボタンを押して HP all-in-one の電源を切り、再度同じボタンを押して電源を入れ直します。 ルーターの電源も一度切って入れ直してください。

システム要件エラー：TCP/IP が存在しません

原因

ローカル エリア ネットワーク (LAN) カード (NIC) が正しく取り付けられていません。

解決方法

LAN カードが正しく装着され、TCP/IP 用に設定されていることを確認します。LAN カードに付属しているマニュアルを参照してください。

インストール中に [プリンタが検出されませんでした] 画面が表示される

原因

HP all-in-one の電源が入っていません。

解決方法

HP all-in-one のカラー グラフィック ディスプレイを確認してください。カラー グラフィック ディスプレイに何も表示されておらず、「**On**」 ボタンが点灯していない場合は、HP all-in-one の電源が入っていません。HP all-in-one の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。「**On**」 ボタンを押して、HP all-in-one の電源を入れてください。

原因

ネットワーク接続がアクティブになっていません。

解決方法

ネットワーク接続がアクティブになっていることを確認してください。詳細については、 ネットワーク接続がアクティブになっていない を参照してください。

原因

ケーブルが正しく接続されていません。

解決方法

以下のケーブルを点検して、正しく接続されていることを確認してください。

- HP all-in-one とルーターの電源コード
- ルーターとコンピュータ間のケーブル
- モデムまたは HP all-in-one インターネット接続に使用されるケーブル (該当する場合)

ルータなしにケーブル モデムを使用していて、IP アドレスがない

原因

ケーブル モデムを持つ PC を使用している場合で、他のコンピュータ用に独立したローカル エリア ネットワーク (LAN) があり、DHCP もルータも使用していない場合は、AutoIP を使用して他のコンピュータと HP all-in-one に IP アドレスを割り当てる必要があります。

解決方法

ケーブル モデムを持つコンピュータの IP アドレスを入手するには

➔ ケーブル モデムを持つ PC には、インターネット サービス プロバイダ (ISP) によって静的または動的 IP アドレスが割り当てられます。

それ以外のコンピュータと HP all-in-one に IP アドレスを割り当てるには

➔ それ以外のコンピュータと HP all-in-one には、AutoIP を使用して IP アドレスを割り当てます。静的 IP アドレスは割り当てないでください。

Common Internet File System トラブルシューティング

CIFS (Common Internet File System) サーバーは、HP all-in-one 内のメモリ カードへのネットワーク ドライブ文字アクセスを提供します。 これにより、ネットワーク上で HP all-in-one のメモリ カードからファイルの読み取りや書き込みが可能になります。CIFS サーバーは、ネットワーク ドライブとしてコンピュータ上に表示されます。 メモリ カードからファイルの読み取りや書き込みができるほか、フォルダを作成して他の情報を保存することもできます。 ここでは、 CIFS サーバーの制限およびエラーについて説明します。

ネットワーク上の他のユーザーが自分のメモリ カードにアクセスできる

原因

これは、CIFS (Common Internet File System) サーバーに伴う制限の 1 つです。

解決方法

CIFS サーバーは、認証をサポートしていません。ただし、メモリ カード内のデータのプライバシーを高めることはできます。

メモリ カードのセキュリティを高める方法についての詳細は、メモリ カードのセキュリティを変更する と HP all-in-one に付属する『ユーザー ガイド』を参照してください。

エラー メッセージ : [ファイルまたはアイテムが見つかりません。]パスやファイル名が正しいことを確認してください。

原因

CIFS サーバーが動作していません。

解決方法

後で再試行してください。 CIFS のセキュリティをオフにする必要がある場合もあります。詳細については、メモリ カードのセキュリティを変更するを参照してください。

Windows 98 で CIFS サーバーにアクセスできない。

原因

Windows 98 では、まずネットワークにログオンしてからでなければ、CIFS サーバーにはアクセスできません。

解決方法

CIFS サーバーへのアクセスを試みる前にネットワークにログオンしているか確認してください。

ファイル名が文字化けしている

原因

CIFS では、他のアプリケーションで作成されたファイルネームが文字化けして表示されることがあります。

解決方法

読んで意味の分かるファイル名に直してください。

a 構成ページの定義

ここでは、ネットワーク構成ページに表示されるアイテムについて説明します。

全般ネットワーク設定

次の表に、ネットワーク構成ページに表示される全般ネットワーク設定について説明します。

「パラメータ」	「説明」
ネットワーク状態	HP all-in-one には以下の状態があります。 ● 「**準備完了**」HP all-in-one はデータ送受信を待機中です。 ● 「**オフライン**」HP all-in-one はオフライン状態です。
アクティブな接続の種類	HP all-in-one には以下のネットワーク モードがあります。 ● 「**有線**」HP all-in-one は Ethernet ケーブルで IEEE 802.3 ネットワークに接続されています。 ● 「**ワイヤレス**」HP all-in-one はワイヤレスで IEEE 802.11b または g ネットワークに接続されています。 ● 「**なし:**」有線と無線の両方のネットワーク接続方式が無効です。 注記 1 度に使用できる接続方式は 1 方式だけです。
URL	埋め込み Web サーバー (EWS) の Web アドレスまたは IP アドレス。 注記 埋め込み Web サーバー を使用するには、この URL が必要です。
ハードウェア アドレス (MAC)	HP all-in-one ごとに固有に付けられている媒体アクセス制御 (MAC) アドレス。 これは、ネットワーク ハードウェアに割り振られた 12 桁の固有の識別番号です。複数のハードウェアが同一の MAC アドレスを持つことはありません。 注記 取り付け時にケーブル モデムや DSL モデムに接続したネットワーク カードや LAN アダプタの MAC アドレスを、登録するように求めるインターネット サービス プロバイダ (ISP) もあります。
ファームウェア リビジョン	内部ネットワーキング コンポーネントおよび本体ファームウェアのバージョン コード。 注記 サポートに問い合わせると、問題にもよりますが、このファームウェア バージョン コードを問われることがあります。

(続き)

ホスト名	インストール ソフトウェアが本体に割り当てる TCP/IP 名。 デフォルトでは、文字 HP の後に MAC アドレスの最後の 6 桁が続きます。
IP アドレス	ネットワーク上で本体の識別に使用される固有のアドレスです。IP アドレスは、DHCP または AutoIP によって動的に割り当てられます。静的 IP アドレスを設定することもできますが、推奨しません。 注記　無効な IP アドレスをインストール時に手動で割り当てると、各ネットワーク コンポーネントから HP all-in-one を参照できなくなります。
サブネット マスク	サブネットはインストール ソフトウェアが割り当てる IP アドレスで、これを使うと大きなネットワークの一部としてネットワークを利用できるようになります。サブネットの指定には、サブネット マスクを使用します。このマスクによって、HP all-in-one の IP アドレスを構成するビットのうちネットワークとサブネットを示す部分が決まります。また、本体自体を示すビットも決まります。 注記　HP all-in-one とこれを使用するコンピュータのすべてに、同じサブネットを割り当てることをおすすめします。
デフォルト ゲートウェイ	他のネットワークへの入り口となる、ネットワーク上のノード。この役割を果たすノードとしては、コンピュータやその他のデバイスを使用できます。 注記　デフォルト ゲートウェイのアドレスは、インストール ソフトウェアが割り当てます。
構成ソース	IP アドレスを HP all-in-one に割り当てるためのプロトコル。以下のものがあります。 ● 「**AutoIP:**」インストール ソフトウェアによって自動的に構成パラメータが決められます。 ● 「**DHCP**」構成パラメータは、ネットワーク上の動的ホスト構成プロトコル (DHCP) サーバーから指定されます。小さなネットワークでは、ルーターがこのサーバーに当たります。 ● 「**マニュアル**」静的 IP アドレスなどの構成パラメータは手動で設定されます。 ● 「**指定なし**」HP all-in-one が初期化されているときはモードが使用されます。
DNS サーバー	ネットワークのドメイン名サービス (DNS) の IP アドレス。Web の使用や電子メールの送信には、ドメイン名が使用されています。たとえば、URL http://www.hp.com には、ドメイン名の hp.com が含まれています。インターネット上の DNS は、このドメ

	イン名を IP アドレスに変換します。この IP アドレスを使用して、デバイス間で相互に参照が行われます。 ● [IP アドレス] - ドメイン名サーバーの IP アドレス。 ● [指定なし] -IP アドレスが指定されていないか、本体が初期化中です。 注記 DNS の IP アドレスがネットワーク構成ページに表示されているかどうかを確認してください。表示されていない場合は、インターネット サービス プロバイダ (ISP) から DNS の IP アドレスを入手してください。 デバイスから HP Instant Share を使用するには DNS の IP アドレスが必要です。DNS の IP アドレスは、内蔵 Web サーバーから入力できます。
mDNS	Rendezvous は、中央の DNS サーバーを使用しないようなローカル ネットワークおよびアドホック ネットワークで使用されます。Rendezvous でネーム サービスを行うには、DNS の代わりに mDNS を使用します。 mDNS を使用すると、LAN に接続されているすべての HP all-in-one をご使用のコンピュータから認識できます。また、Ethernet 対応のデバイスであれば、ネットワーク上のどのコンピュータでも取り扱うことができます。
管理者パスワード	埋め込み Web サーバーで使用する管理者のパスワード状態には以下のような状態があります。 ● 「**設定済み**」パスワードが指定されています。 埋め込み Web サーバーのパラメータを変更するには、パスワードの入力が必要です。 ● 「**設定なし**」パスワードが設定されていません。 埋め込み Web サーバーのパラメータを変更するには、パスワードの入力は必要ありません。
リンク構成	ネットワークのデータ転送速度。以下の種類があります。 ● 「**802.11b**」 - ワイヤレス ネットワーク用。 ● 「**10TX-Full**」 - 有線ネットワーク用。 ● 「**10TX-Half**」 - 有線ネットワーク用。 ● 「**100TX-Full**」 - 有線ネットワーク用。 ● 「**100TX-Half**」 - 有線ネットワーク用。 ● 「なし」 - ネットワークは無効です。

ワイヤレス ネットワーク設定

次の表に、ネットワーク構成ページに表示されるワイヤレス ネットワーク設定を説明します。

「パラメータ」	「説明」

(続き)

ワイヤレス状態	ワイヤレス ネットワークの状態 ● 「**接続**」: HP all-in-one がワイヤレス LAN に接続されていて、すべて正しく機能しています。 ● 「**切断**：」 設定が正しくない（ WEP キーが間違っているなど)、または HP all-in-one が範囲外であるため、 HP all-in-one がワイヤレス LAN に接続されていません。 ● 「**無効**」 - 無線の電源がオフになっているか、または Ethernet ケーブルが接続されているかのどちらか。 ● 「**適用できません**」 - このパラメータはこのネットワークのタイプには当てはまりません。
接続モード	デバイスやステーションが互いに通信する、IEEE 802.11 ネットワーキング フレームワーク ● 「**インフラストラクチャ**」 -HP all-in-one は、ワイヤレス ルーターや無線基地局などのワイヤレス アクセス ポイントを経由して、他のネットワーク デバイスと通信します。 ● 「**アドホック**」 -HP all-in-one はネットワーク上のデバイスと直接通信します。ワイヤレス アクセス ポイントは使用しません。ピア ツー ピア ネットワークとも呼ばれます。Macintosh ネットワークでは、アドホック モードはコンピュータ ツー コンピュータ モードとも呼ばれます。 ● 「**適用できません**」 - このパラメータはこのネットワークのタイプには当てはまりません。
ネットワーク名（SSID）	サービス設定 ID。ワイヤレス LAN (WLAN) の識別に使用される 32 文字までの固有の識別子。SSID はネットワーク名とも呼ばれます。このフィールドは、HP all-in-one が接続されているネットワークの名前を示しています。
信号強度（1-5)	送信信号と帰還信号は以下の 5 段階に分けられます。 ● 「**5**」 - 最高 ● 「**4**」 - 良い ● 「**3**」 - 普通 ● 「**2**」 - 悪い ● 「**1**」 - 最低 ● 「**信号なし**」 - ネットワーク上の信号を検出できません。 ● 「**適用できません**」 - このパラメータはこのネットワークのタイプには当てはまりません。
チャネル	現在ワイヤレス通信に使用されているチャネルの番号。ご使用のネットワークによって異なります。また、要求されたチャネルの番号と異なる場合もあります。値は 1 ～ 14 です。ただし、国/地

(続き)

	域によっては認可チャネルの範囲が制限されていることがあります。 ● **「<番号>」** -1 ～ 14 の範囲の値。国/地域によって異なります。 ● **「なし」** -使用中のチャネルはありません。 ● **「適用できません」** - WLAN が無効か、 このパラメータがこのネットワークのタイプには当てはまりません。 注記　アドホック モードを使用していて、コンピュータと HP all-in-one の間でデータを送受信できない場合は、コンピュータと HP all-in-one の通信チャネルが同じかどうかを確認してください。インフラストラクチャ モードの場合、チャネルはアクセス ポイントを見れば分かります。
認証の種類	使用中の認証の種類です。以下の種類があります。 ● **「なし」** - 使用中の認証がありません ● **「オープン システム」** (アドホック、インフラストラクチャ両用) -認証は使用されていません。 ● **「共有キー」** (インフラストラクチャのみ) -WEP キーが必要です。 ● **「WPA-PSK」** (インフラストラクチャのみ) -事前共有キーを使用する WPA。 ● **「適用できません」** - このパラメータはこのネットワークのタイプには当てはまりません。 ユーザーとデバイスの身元を認証による確認後ネットワークへのアクセスを認めるため、無許可のユーザーによるネットワーク リソースへの侵入が発生しにくくなります。このセキュリティ方式はワイヤレス ネットワークでよく使われています。 オープン システム認証を使うネットワークでは、ネットワーク ユーザーを身元に応じて選別しません。このネットワークでは、すべてのワイヤレス ユーザーがアクセスを許可されます。ただし、このようなネットワークでは、簡単に傍受が行われるのを防ぐための第 1 レベルのセキュリティとして、WEP (Wired Equivalent Privacy) 暗号化が使用されることがあります。 共有キーによる認証を行うネットワークでは、ユーザーやデバイスに対し、静的キー (16 進数または英数字からなる文字列) を使用して本人 (本物) であることを証明するように求めるという方法で、セキュリティを高めています。ネットワーク上のすべてのユーザーまたはデバイスは同じキーを共有します。WEP 暗号化は、共有キーによる認証とともに使用されます。このとき、認証と暗号化の両方に同じキーが使用されます。 サーバー ベースの認証 (WPA-PSK) を行うネットワークは、セキュリティが大いに強化されます。このようなネットワークは、ほとんどのワイヤレス アクセス ポイントとワイヤレス ルーターでサポートされています。アクセス ポイントやルーターは、ネットワークへのアクセスを求めるユーザーやデバイスの身元を検証した

(続き)

	上で、アクセスを許可します。認証サーバーでは、複数の異なる認証プロトコルが使用される場合があります。 注記　共有キーと WPA-PSK 認証は、埋め込み Web サーバーからのみ設定できます。
暗号化	ネットワークで使用されている暗号化方式 ● 「なし」 -暗号化は使用されていません。 ● 「**64-bit WEP**」 -5 文字、あるいは 10 桁の 16 進数による WEP キーが使用されています。 ● 「**128-bit WEP**」 -13 文字、あるいは 26 桁の 16 進数による WEP キーが使用されています。 ● 「**WPA-AES**」: Advanced Encryption Standard 暗号化 が使用されています。 これはセキュリティを確保するための暗号化アルゴリズムですが、アメリカ合衆国の当局に認定されていない規格です。 ● 「**WPA-TKIP**」: 拡張暗号化プロトコルである、Temporal Key Integrity Protocol が使用されています。 ● 「**自動**」: AES または TKIP が使用されています。 ● 「**適用できません**」 - このパラメータはこのネットワークのタイプには当てはまりません。 WEP は、電波を経由するデータを暗号化することで、エンド ツー エンドの転送の場合と同様のデータ保護を実現することを目的としています。このセキュリティ方式はワイヤレス ネットワークでよく使われています。
アクセスポイント ハードウェア アドレス	HP all-in-one が接続されているネットワークにあるアクセス ポイント ハードウェアのアドレス。以下の種類があります。 ● 「**<MAC アドレス>**」 -アクセス ポイントに固有の MAC (媒体アクセス制御) ハードウェア アドレス。 ● 「**適用できません**」 - このパラメータはこのネットワークのタイプには当てはまりません。

その他

次の表では、ネットワーク構成ページに表示されるデータ送受信情報について説明します。

「**パラメータ**」	「**説明**」
転送されたパケットの合計	HP all-in-one が起動してから正常に送信したパケットの数。このカウンタは、HP all-in-one の電源をオフにするとクリアされます。パケット交換方式のネットワークでメッセージを送信すると、メッセージはパケット単位に分けられます。各パケットには、データだけでなく宛先アドレスも格納されます。
受信したパケットの合計	HP all-in-one が起動してから正常に受信したパケットの数。このカウンタは、HP all-in-one の電源をオフにするとクリアされます。

b 用語集

802.11b または g	ワイヤレス ネットワーク用の信号プロトコル 802.11g は b より後に開発されたもので、より進んだ機能を備えています。
アクセス ポイント	ワイヤレス ルーターとしても知られるアクセス ポイントにより、 HP all-in-one と他のネットワーク構成要素を安全かつフレキシブルに接続することが可能です。 アクセス ポイントによるワイヤレス ネットワークはインフラストラクチャ ネットワークとも呼ばれます。
アドホック	アクセス ポイントを使用しないワイヤレス ネットワーク
ASCII	American Standard Code for Information Interchange（情報交換用米国標準コード） すべてのラテン文字（大文字および小文字)、数字、句読点などをコンピュータで表すのに広く使用されてる標準コード
認証	ユーザーとデバイスの身元を確認後ネットワークへのアクセスを認めるネットワーク セキュリティの方法。無許可のユーザーによるネットワーク リソースへの侵入が発生しにくくなります。このセキュリティ方式はワイヤレス ネットワークでよく使われています。
AutoIP	インストール ソフトウェアの機能のひとつで、ネットワーク上のデバイスの構成パラメータを決定します。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol 。 ネットワーク上のデバイスに構成パラメータを送るネットワーク上のサーバーです。小さなネットワークでは、ルーターがこのサーバーに当たります。
DNS	Domain Name Service 。Web の使用や電子メールの送信には、ドメイン名が使用されています。たとえば、URL http://www.hp.com には、ドメイン名の hp.com が含まれています。インターネット上の DNS は、このドメイン名を IP アドレスに変換します。この IP アドレスを使用して、デバイス間で相互に参照が行われます。
DNS-SD	DNS を参照してください。 SD の部分は、 Service Discovery の略です。 Apple によって開発されたプロトコルの一部で、自動的にコンピュータやデバイスを見つけることができる IP ネットワークのサービスです。
DSL	Digital Subscriber Line 。 高速インターネット通信のひとつ。
Ethernet	銅線ケーブルを使用してコンピュータを接続する最も一般的なローカル ネットワーク技術

用語集

(続き)

Ethernet ケーブル	有線接続でネットワーク構成要素を接続するのに使用されるケーブル。CAT-5 Ethernet ケーブルは、ストレート ケーブルとも呼ばれます。- Ethernet ケーブルを使用する場合は、ネットワーク構成要素がルーターに接続されている必要があります。Ethernet ケーブルは、RJ-45 コネクタを使用します。
EWS	Embedded (埋め込み) Web サーバー。 HP all-in-one を簡単に管理できる、ブラウザをベースにしたユーティリティです。 状態の監視や、 HP all-in-one のネットワーク パラメータの設定、 HP all-in-one の機能へのアクセスなどが可能です。詳細については、埋め込み Web サーバーを使用するを参照してください。
HEX	16 進数。 16 を基数とする記数法。0～9 の数字と A～F の文字を使用します。
ハブ	もはや最近のホーム ネットワークではあまり使われなくなりましたが、ハブは各コンピュータから信号を受け取り、それをハブでつながれている他のコンピュータすべてに送ります。 ハブは受動的です。ネットワーク上の他のデバイスは互いに通信するためにハブに接続します。ハブは、ネットワークを管理しません。
IP アドレス	ネットワーク上のデバイスを識別する固有の数字です。IP アドレスは、DHCP または AutoIP によって動的に割り当てられます。静的 IP アドレスを設定することもできますが、推奨しません。
インフラストラクチャ	インフラストラクチャ ネットワークは、ルーターやスイッチ、アクセス ポイントを使ってネットワーク構成要素を接続します。
MAC アドレス	HP all-in-one ごとに固有に付けられている媒体アクセス制御 (MAC) アドレス。 これは、ネットワーク ハードウェアに割り振られた 12 桁の固有の識別番号です。複数のハードウェアが同一の MAC アドレスを持つことはありません。
NIC	ネットワーク インタフェース カード。 コンピュータのカードで、Ethernet 接続を行います。これによってコンピュータをネットワークに接続することができます。
RJ-45 コネクタ	Ethernet ケーブルの端のコネクタ。 標準の Ethernet ケーブル コネクタ（RJ-45 コネクタ）は普通の電話ケーブル コネクタと似ていますが、互換性はありません。 RJ-45 コネクタは幅が広くて厚みがあり、端に必ず接点が 8 箇所あります。 電話ケーブル コネクタの接点は 2～6 箇所です。
SSID	サービス設定 ID。ワイヤレス LAN (WLAN) の識別に使用される 32 文字までの固有の識別子。SSID はネットワーク名とも呼ばれます。このフィールドは、HP all-in-one が接続されているネットワークの名前を示しています。

用語集

ルーター	ルーターは 2 つ以上のネットワーク間の中継を行います。 ルーターを導入すると、ネットワークをインターネットに接続できるばかりでなく、2 つのネットワークをリンクして両方をインターネットに接続することができます。また、ファイアウォールを使用し、動的アドレスの割り当てを行うことで、ネットワークの安全性を高めることができます。 ルーターはゲートウェイの働きもします。スイッチには、こうした機能はありません。
スイッチ	スイッチを使用すると、複数のユーザーがネットワーク上で情報を同時に送信することができ、お互いの速度が低下することもありません。ネットワークのさまざまなノード (ネットワーク接続ポイント、通常はコンピュータ) が、互いに直接通信できます。
WEP キー	Wired Equivalent Privacy 暗号化のパスキーで、ちょっとしたのぞき見を防ぐ第 1 レベルのセキュリティに使用します。
WPA パスワードまたは パスキー	Wi-Fi Protected Access 用のパスワード　このパスキーは、スペースを含む 8 文字から 63 文字までの英数字です。 WPA はユーザーとデバイスの身元を確認後ネットワークへのアクセスを認めるため、無許可のユーザーによるネットワーク リソースへの侵入が発生しにくくなります。このセキュリティ方式はワイヤレス ネットワークでよく使われています。

索引

この印刷物には、50%以上の再生パルプと
10%以上の再生紙を使用しています。

Electronic Edition

www.hp.com

Q3462-90224